

第6次田上町総合計画 後期基本計画策定のための 町民アンケート調査の集計結果(速報)

(1) 目的

第6次田上町総合計画前期基本計画の各分野に基づき、当町の現状や課題、町の施策やサービスに対する町民の評価等の把握を行うために実施する。

前回調査（令和2年度）の結果と比較することで、前期計画の進捗管理及び施策評価、後期計画及び次期総合戦略策定のための検討資料として活用する。

(2) 対象数・配布方法等

調査対象：15歳以上の町民 2,000人

調査方法：無作為抽出

配布方法：郵送による配布

回答方法：調査票の郵送回答 または Web回答

(3) 配布・回収状況（前回値比較）

実施年度	対象	配布日	締切日	配布数	回収数	回収率
R7年度	町民(15歳以上)	R7.7.14	R7.8.15	2,000	郵送：530 Web：122 持参：25 <u>合計：677</u>	33.9%
R2年度 (前回値)	町民(15歳以上)	R3.1.7	R3.1.20	2,000	郵送：700 Web：80 <u>合計：780</u>	39.0%

(4) 年代別の回答率（問2「年代」の回答があった674枚で集計。「年代」未回答の3枚は下記の回答数に含めていません。）

年代	配付数	回答数	回答方法			回答率
			郵送・持参	Web	合計	
10代	79	22	10	12	22	27.8%
20代	154	30	21	9	30	19.5%
30代	214	52	25	27	52	24.3%
40代	287	90	63	27	90	31.4%
50代	370	110	88	22	110	29.7%
60代	368	162	145	17	162	44.0%
70代以上	528	208	201	7	208	39.4%
合計(n=)	2,000	674	553	121	674	33.7%

(5) 集計・分析結果の見方と留意事項

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。
- 図表中において「前回項目なし」とあるものは、前回調査の調査項目になく、今回調査との結果の比較ができないものです。
- 図表中の「n(number of case)」は、集計対象者総数を表しています。
- 本文中、図表中の設問や選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 本アンケートの回答者の年齢構成比を町民全体の構成比と比較すると、特に60代と70代の回答者の割合が町民全体の構成比よりも高くなっています。
(詳細は下記、表1参照)
このため、本アンケートの結果は60代以上の方の意見が、町民全体の意見よりも強く反映されている可能性がある点にご留意ください。

表1 回答者と町民全体の年齢別構成比の比較

年齢区分	町民全体※の構成比 (N=8,311)	回答者の構成比 (n=674)	差 (回答者－町民)
10代※ ¹	5.0%	3.26%	-1.74
20代	8.3%	4.45%	-3.82
30代	9.9%	7.72%	-2.22
40代	14.4%	13.35%	-1.09
50代	18.9%	16.32%	-2.53
60代	18.3%	24.04%	5.71
70代以上※ ²	25.2%	30.86%	5.69
計	100.0%	100.00%	-

※ 15歳～80歳までの町民人口

※¹ 15歳以上のみカウント

※² 70歳～80歳のみカウント

(6) 集計・分析結果

町民アンケートの分析結果を次ページ以降に示します。

— 目 次 —

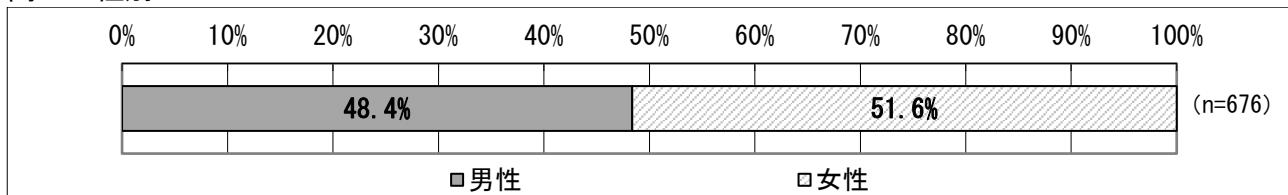
■単純集計・クロス集計

1. あなたご自身のことについて	4
問1～問4	4
2. 田上町での住み心地について	6
問5	6
問5（前回調査比較）	7
問6	8
問6（前回調査比較）	9
問7	10
問7（前回調査比較）	11
3. 田上町の今後のまちづくりについて	12
問8／満足度	12
問8／満足度（各分野別）	15
問8／重要度	20
問8／重要度（各分野別）	23
満足度・重要度 前回調査比較 (クロス分析)	28
問9	30
問10	33
問11	36
問12	37

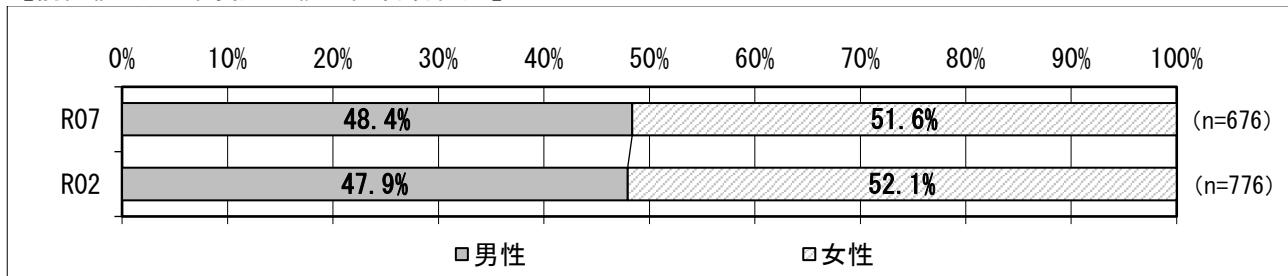
■ 単純集計・クロス集計

1. あなたご自身のことについて、おたずねします

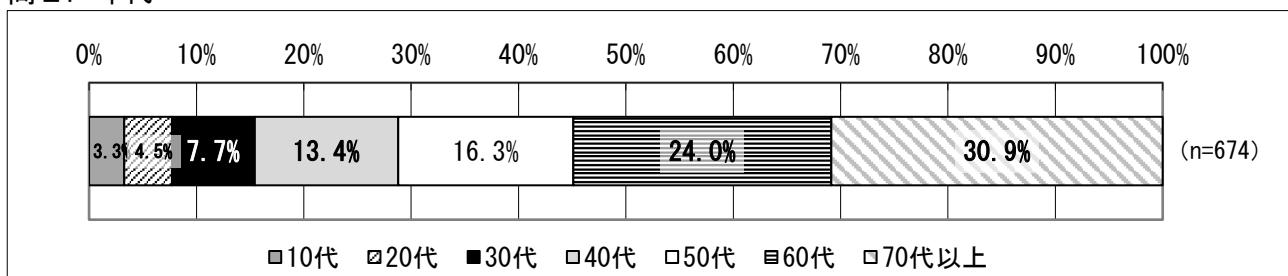
問1. 性別



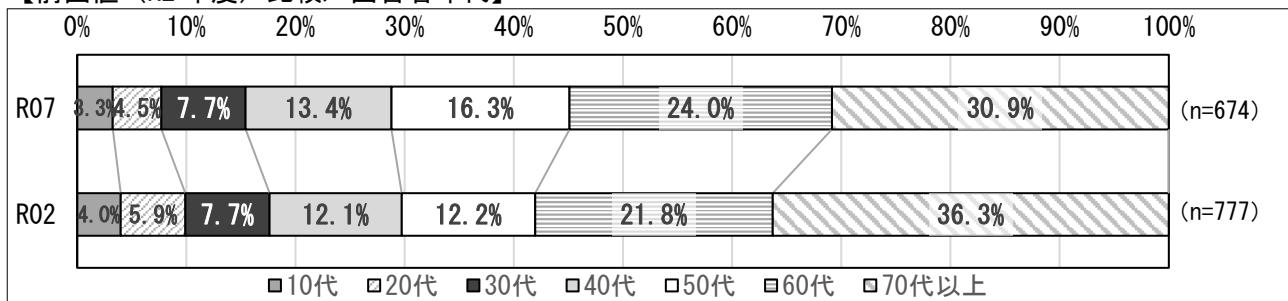
【前回値（R2 年度）比較／回答者性別】



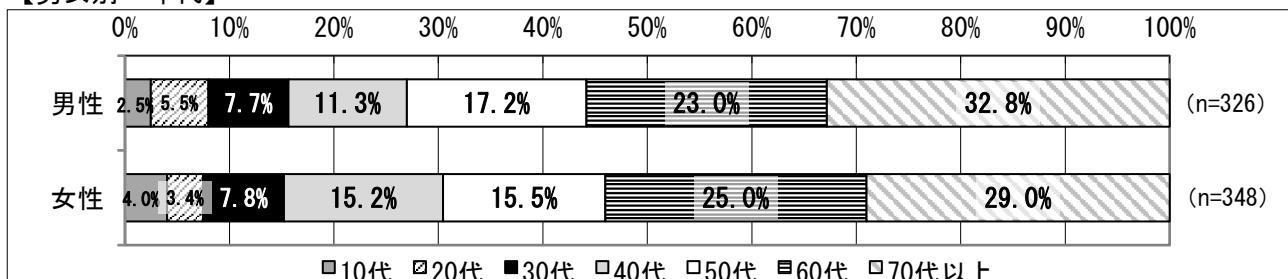
問2. 年代



【前回値（R2 年度）比較／回答者年代】

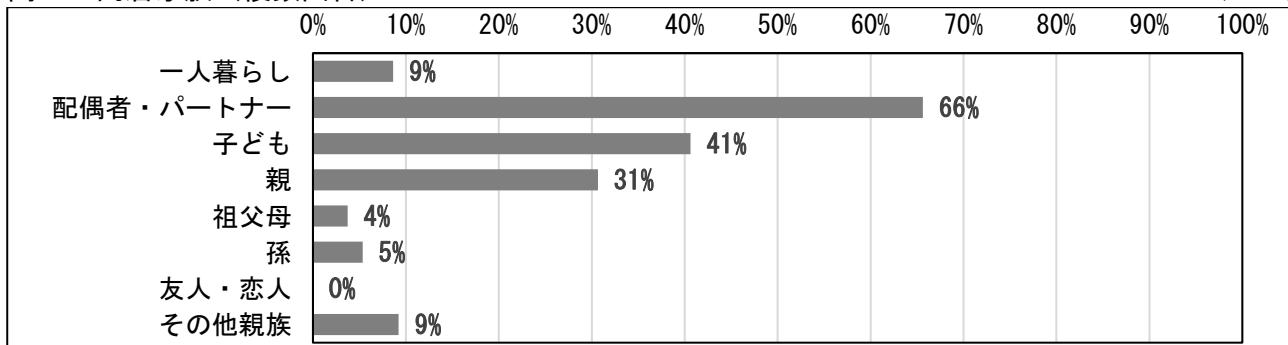


【男女別・年代】

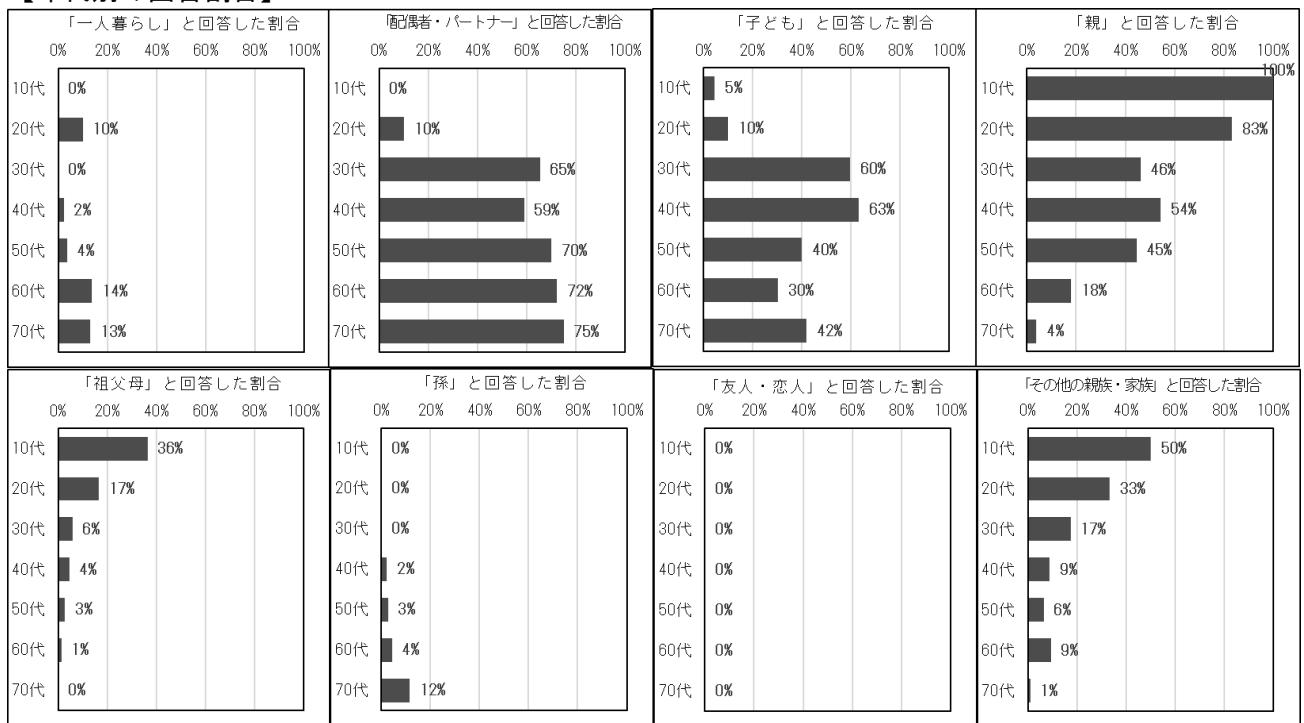


問3. 同居家族（複数回答）

(n=672)

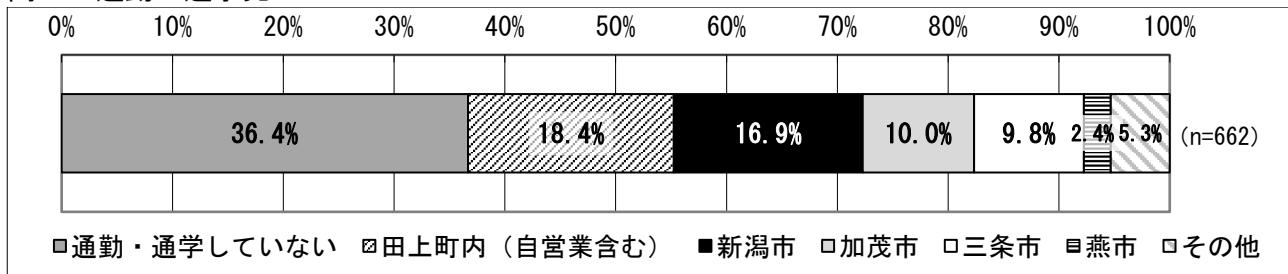


【年代別の回答割合】

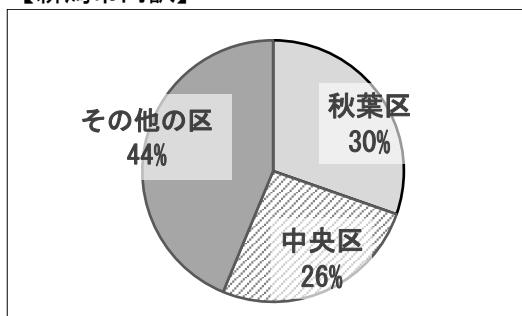


問4. 通勤・通学先

(n=662)



【新潟市内訳】



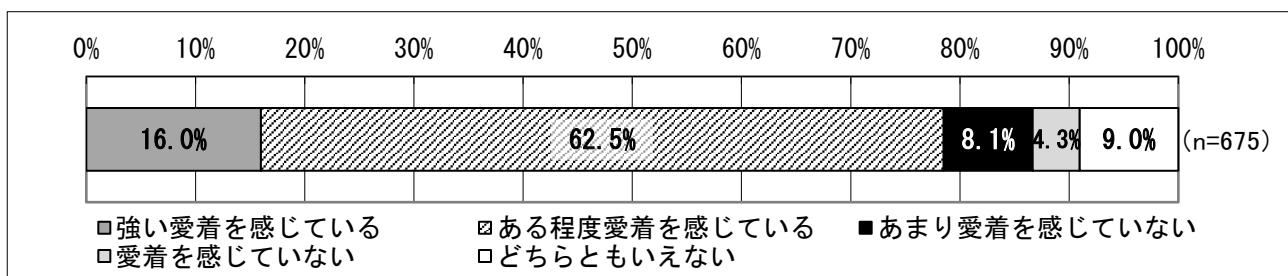
2. 田上町での住み心地について、おたずねします

問5. 田上町に愛着を感じていますか？【1つだけに○】

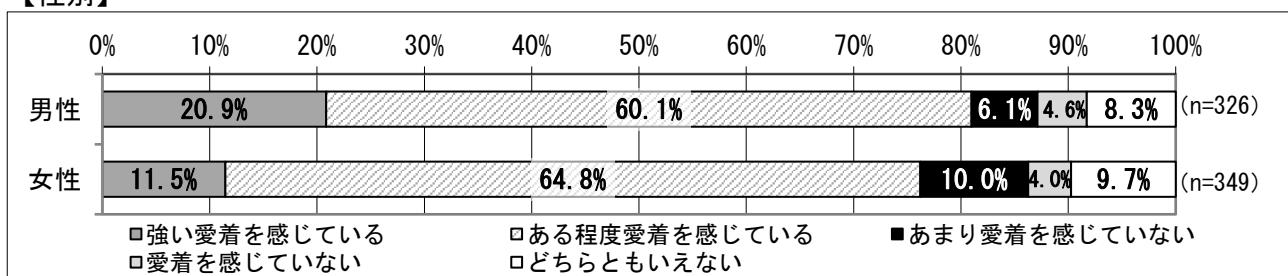
○全体では、「強い愛着を感じている」が 16.0%（前回比+1.0%）、「ある程度愛着を感じている」が 62.5%（前回比+0.7%）で、合わせると 78.5%（前回比+1.7%）が愛着を感じています。

○性別では、男性が女性よりも愛着を感じる比率が高い状況です。

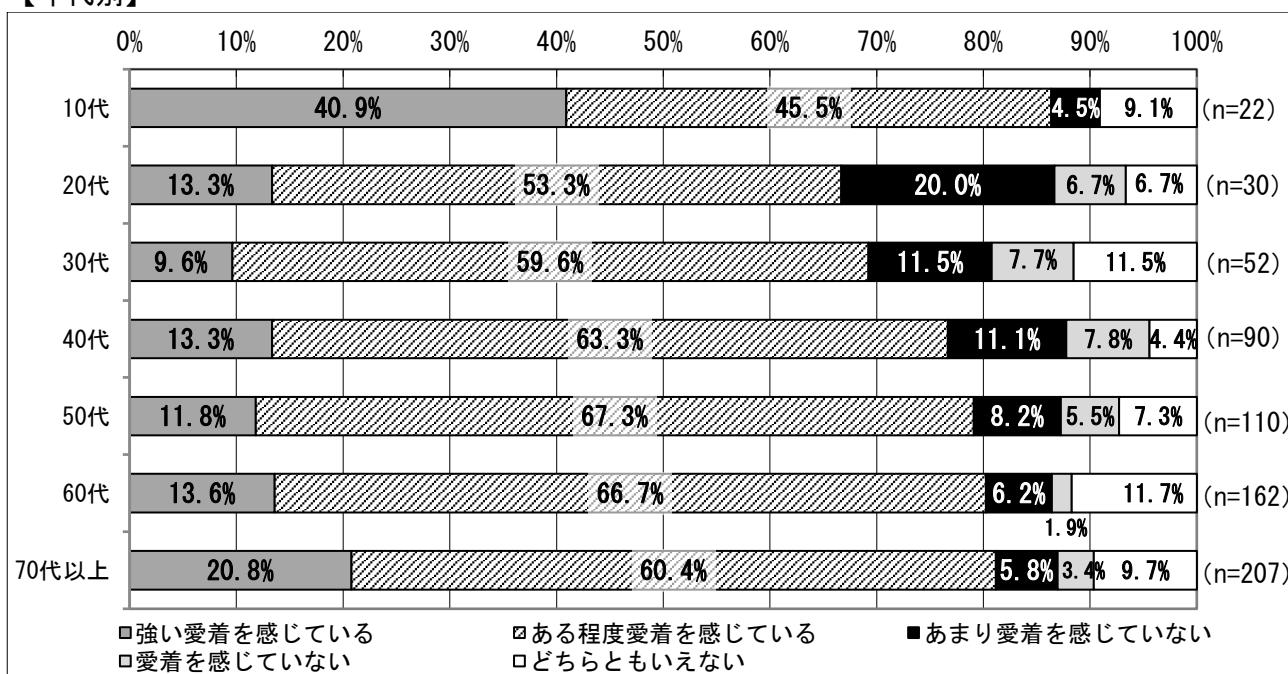
○年代別では、10代、60代、70代以上で愛着を感じる比率が80%を超えるのに対し、20代と30代では70%を下回ります。



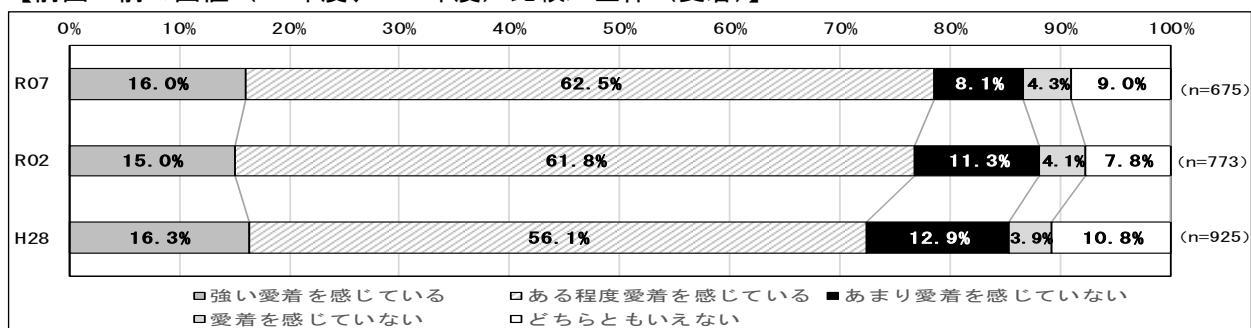
【性別】



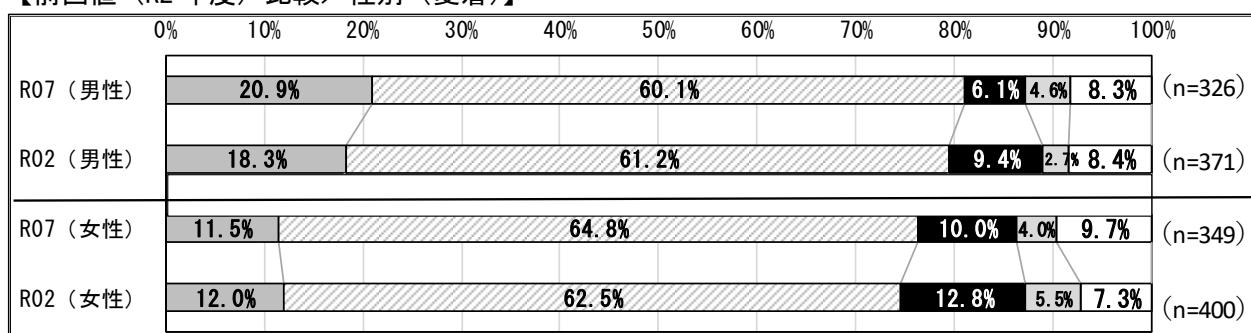
【年代別】



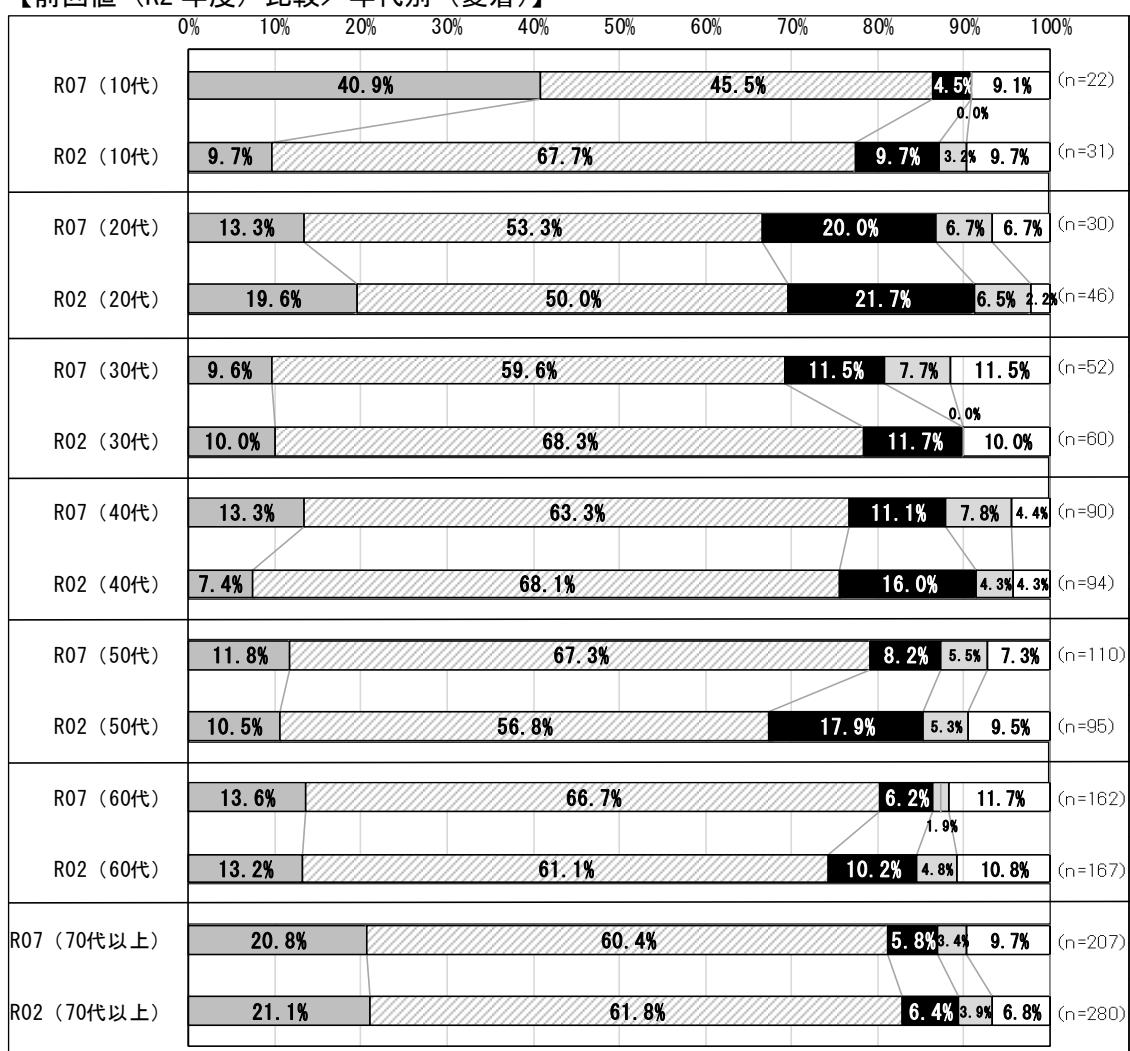
【前回・前々回値（R2年度、H28年度）比較／全体（愛着）】



【前回値（R2年度）比較／性別（愛着）】



【前回値（R2年度）比較／年代別（愛着）】

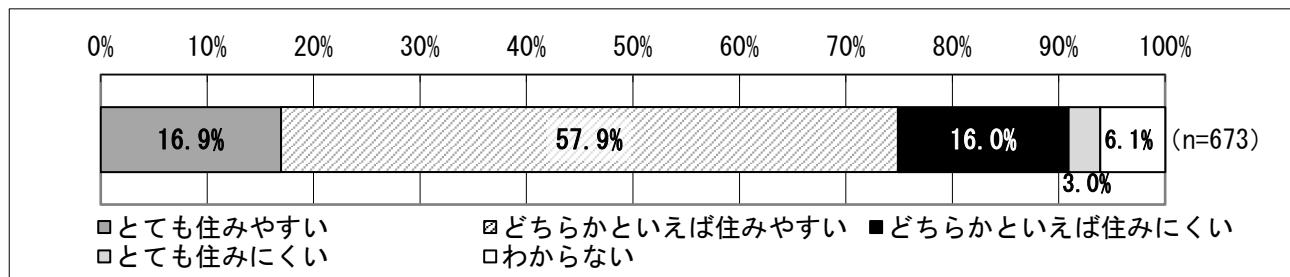


問6. 田上町は住みやすい町だと思いますか？【1つだけに○】

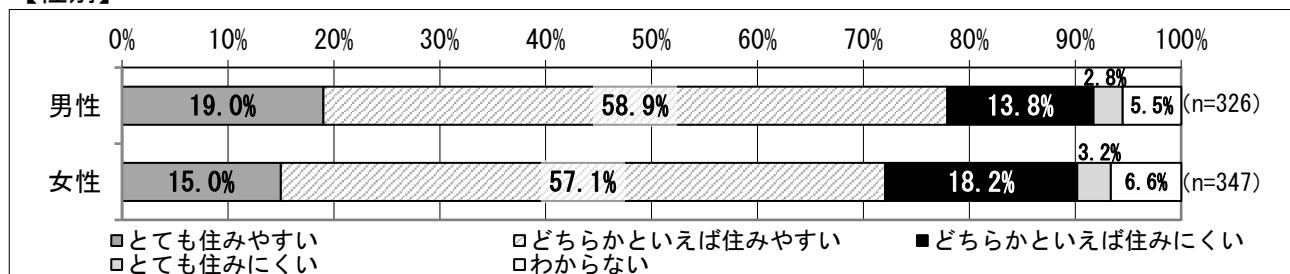
○全体では、「とても住みやすい」が 16.9%（前回比+4.1%）、「どちらかといえば住みやすい」が 57.9%（前回比-2.2%）で合わせると 74.8%（前回比+1.9%）が住みやすいと感じています。

○性別では、男性が女性よりも住みやすさを感じる比率が高い状況です。

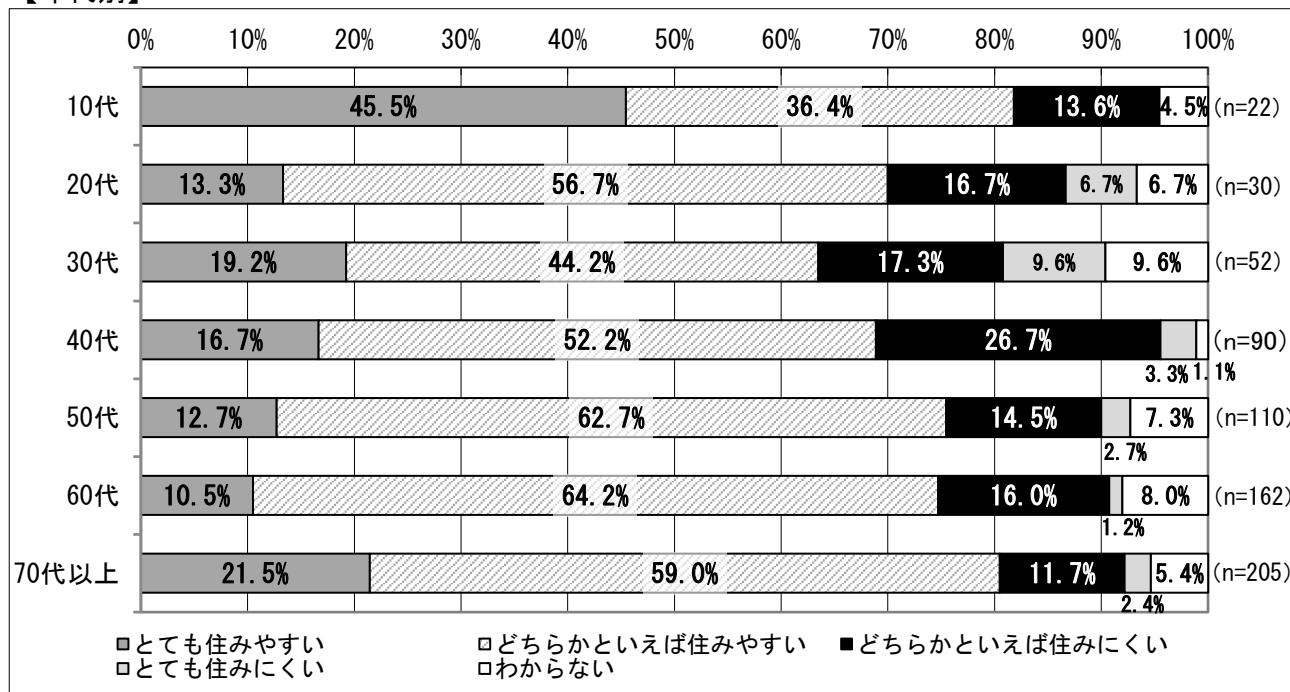
○年代別では、10代と70代以上で住みやすさを感じる比率が約80%であるのに対し、20代～40代では70%を下回ります。



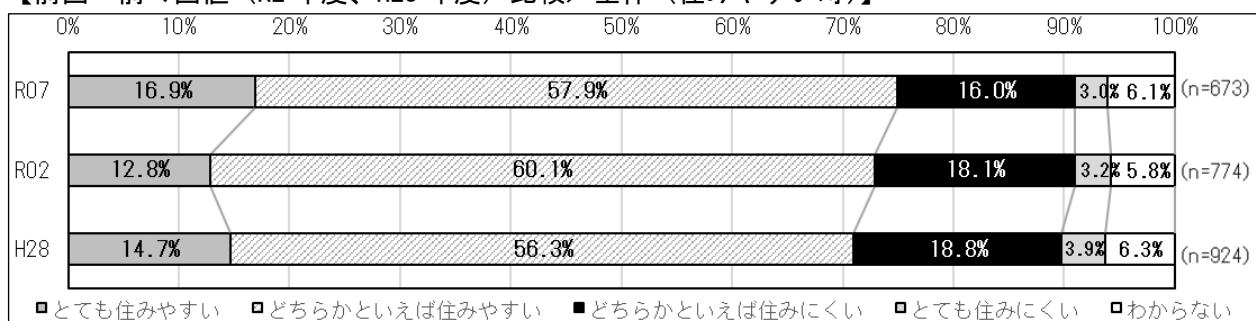
【性別】



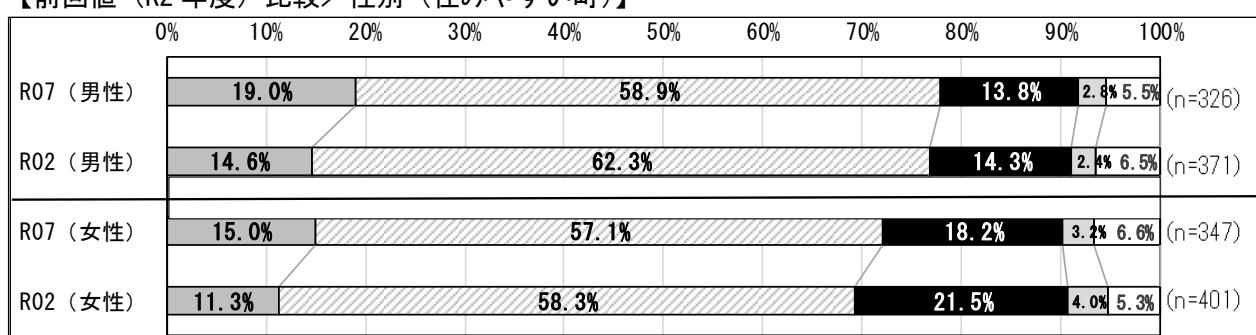
【年代別】



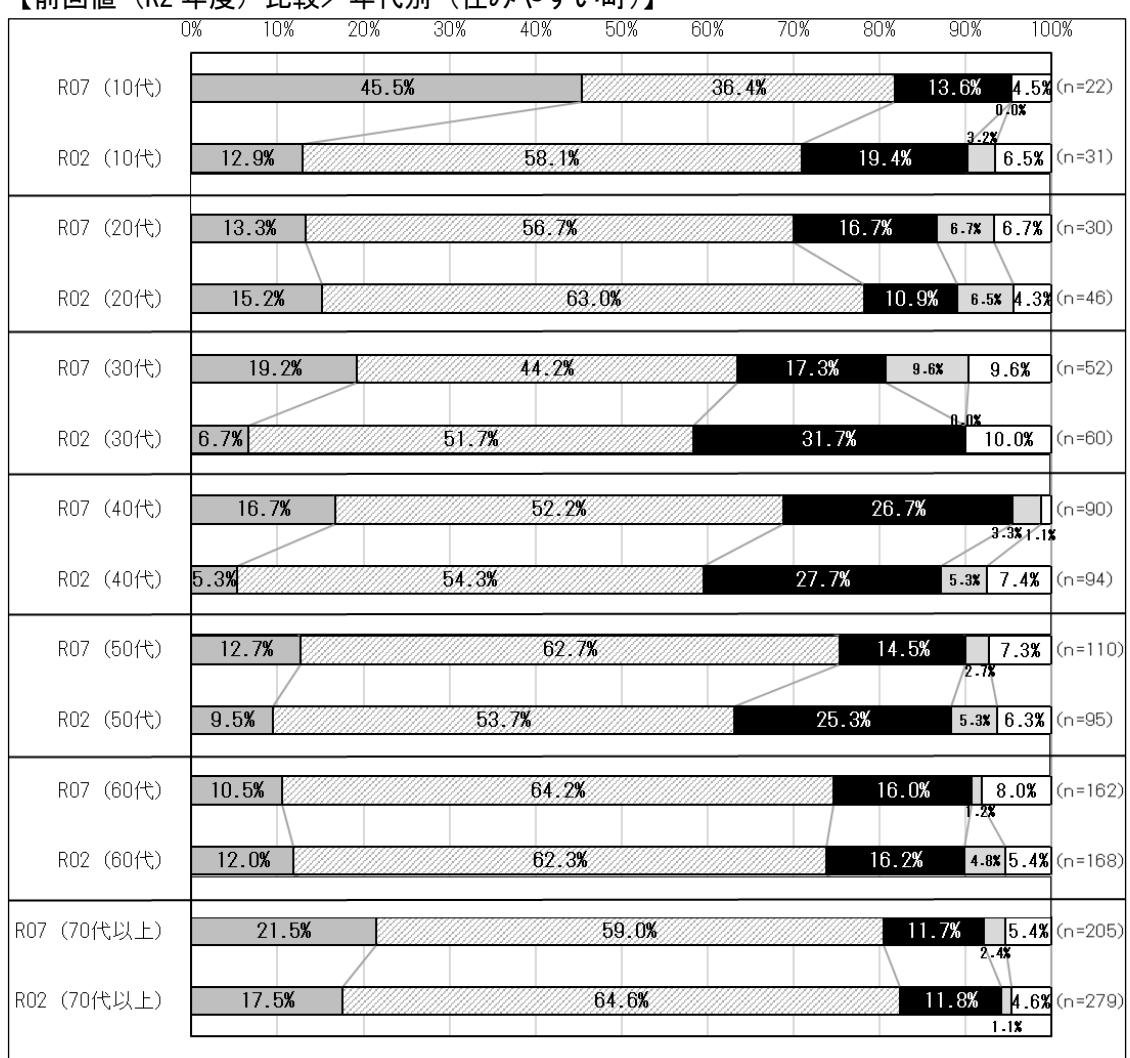
【前回・前々回値（R2年度、H28年度）比較／全体（住みやすい町）】



【前回値（R2年度）比較／性別（住みやすい町）】



【前回値（R2年度）比較／年代別（住みやすい町）】

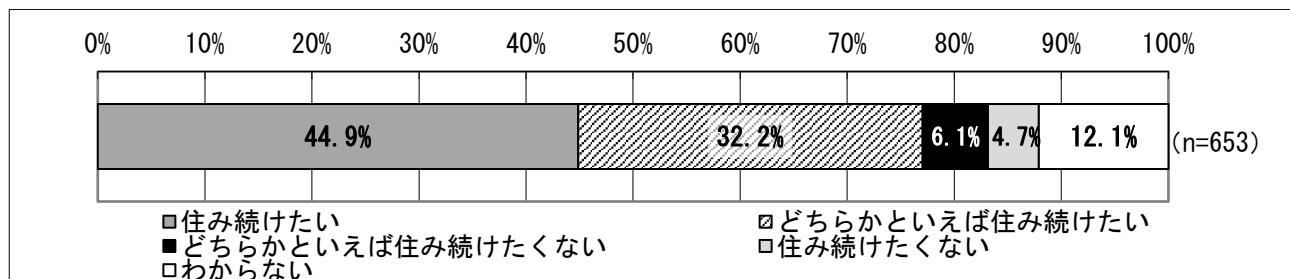


問7. 田上町に10年後も住み続けたいと思いますか？【1つだけに○】

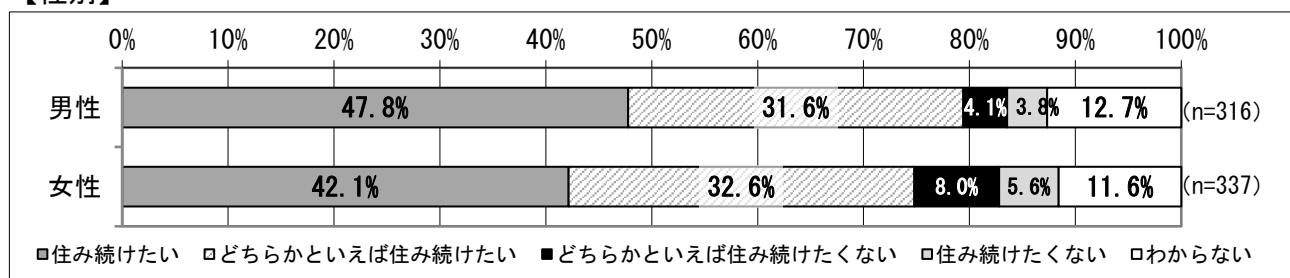
○全体では、「住み続けたい」が44.9%（前回比+5.0%）、「どちらかといえば住み続けたい」が32.2%（前回比-4.0%）で、合わせると77.1%（前回比+1.0%）が住み続けたい（居住意向のある）という状況です。

○男性が女性よりも居住意向のある比率が高い状況です。

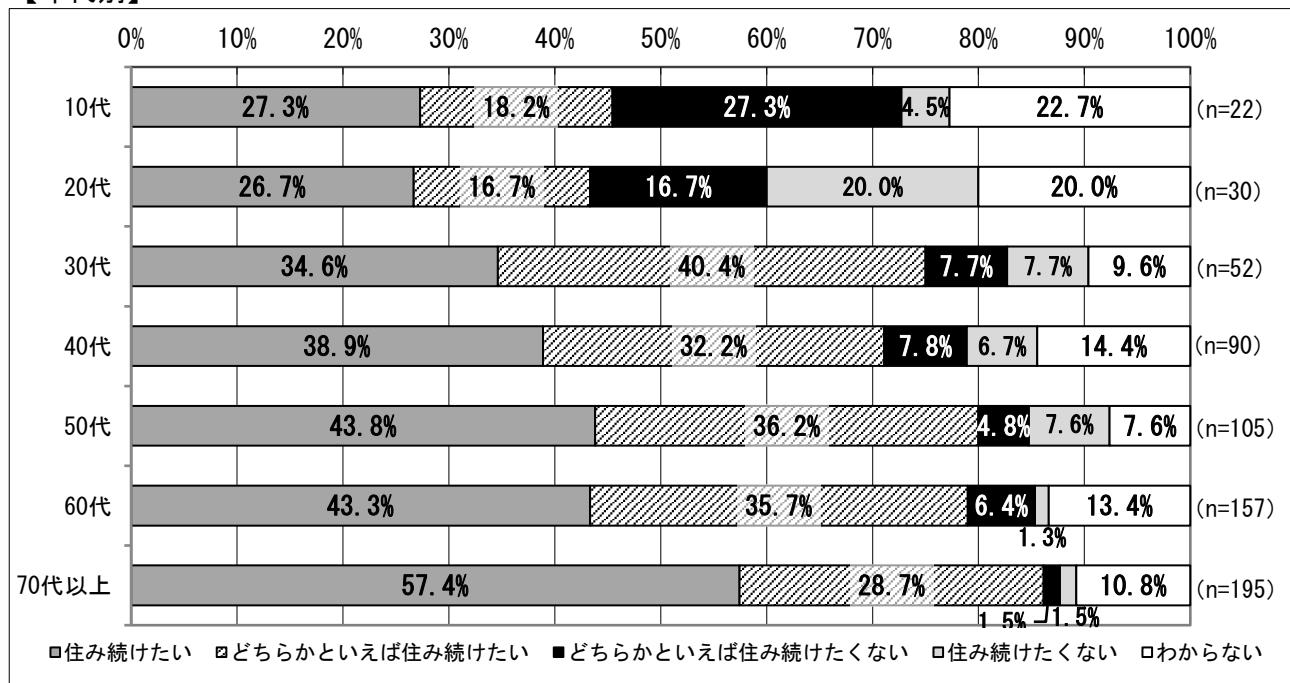
○年代別では、10代・20代で居住意向のある比率が50%以下ですが、高齢になるにつれて上昇し70代以上では86.1%になります。10代～20代では、「わからない」とする比率も比較的高い状況です。



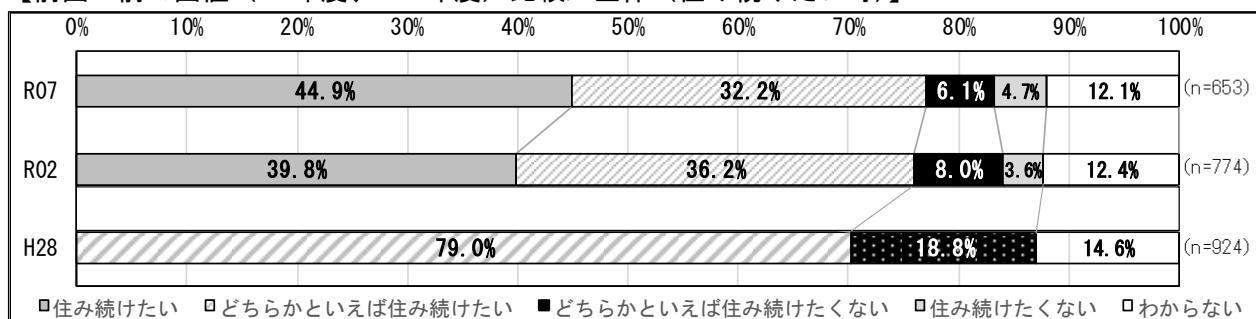
【性別】



【年代別】



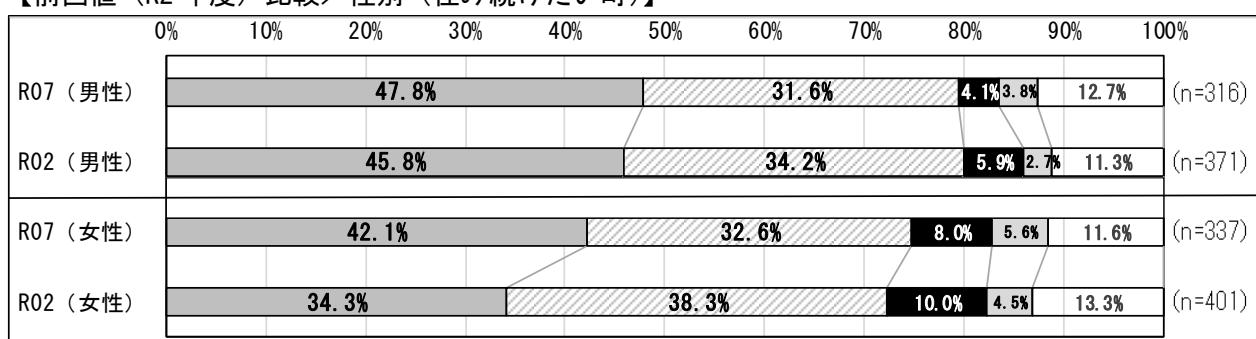
【前回・前々回値（R2年度、H28年度）比較／全体（住み続けたい町）】



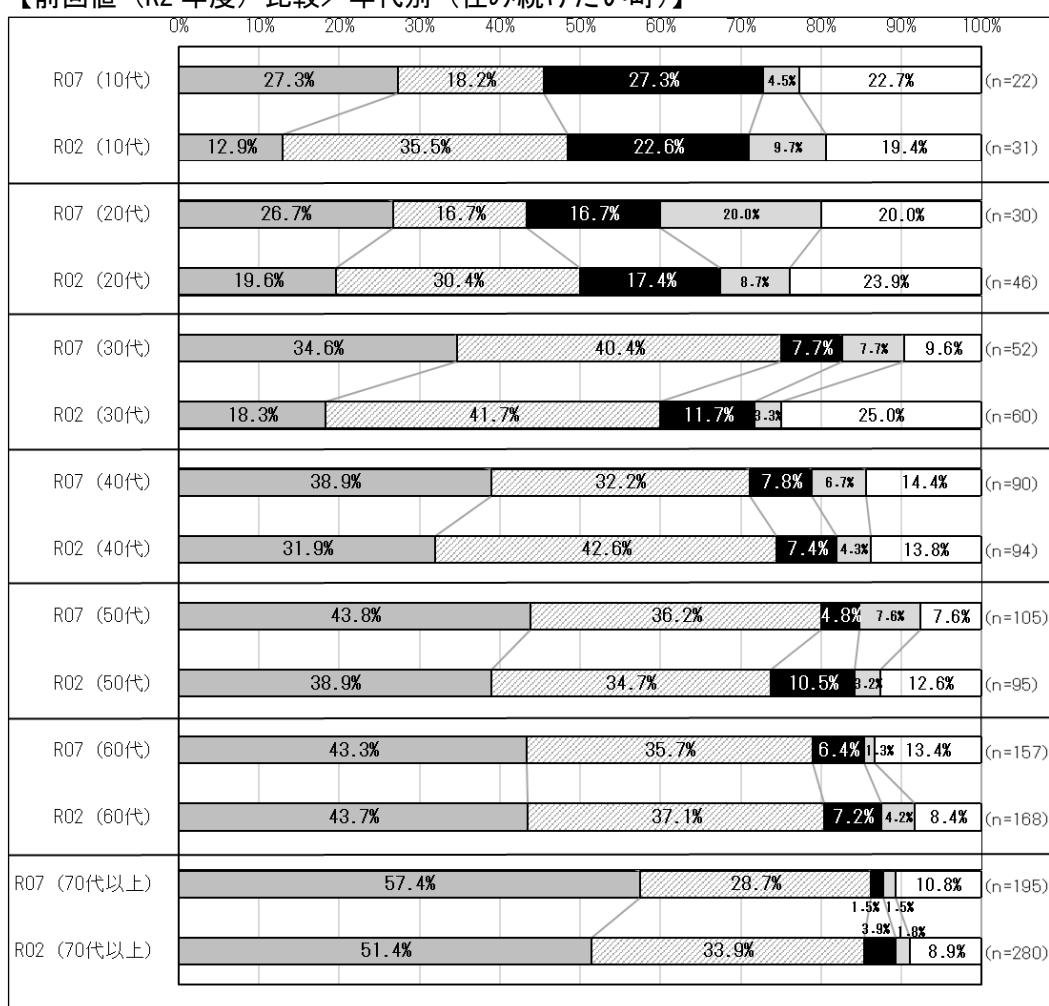
※H28の設問の選択肢

「住み続けたい」と「当分は住み続けたい」の合算（79.0%）、「町外に引っ越したい」（18.8%）、「分からぬ」（14.6%）

【前回値（R2年度）比較／性別（住み続けたい町）】



【前回値（R2年度）比較／年代別（住み続けたい町）】



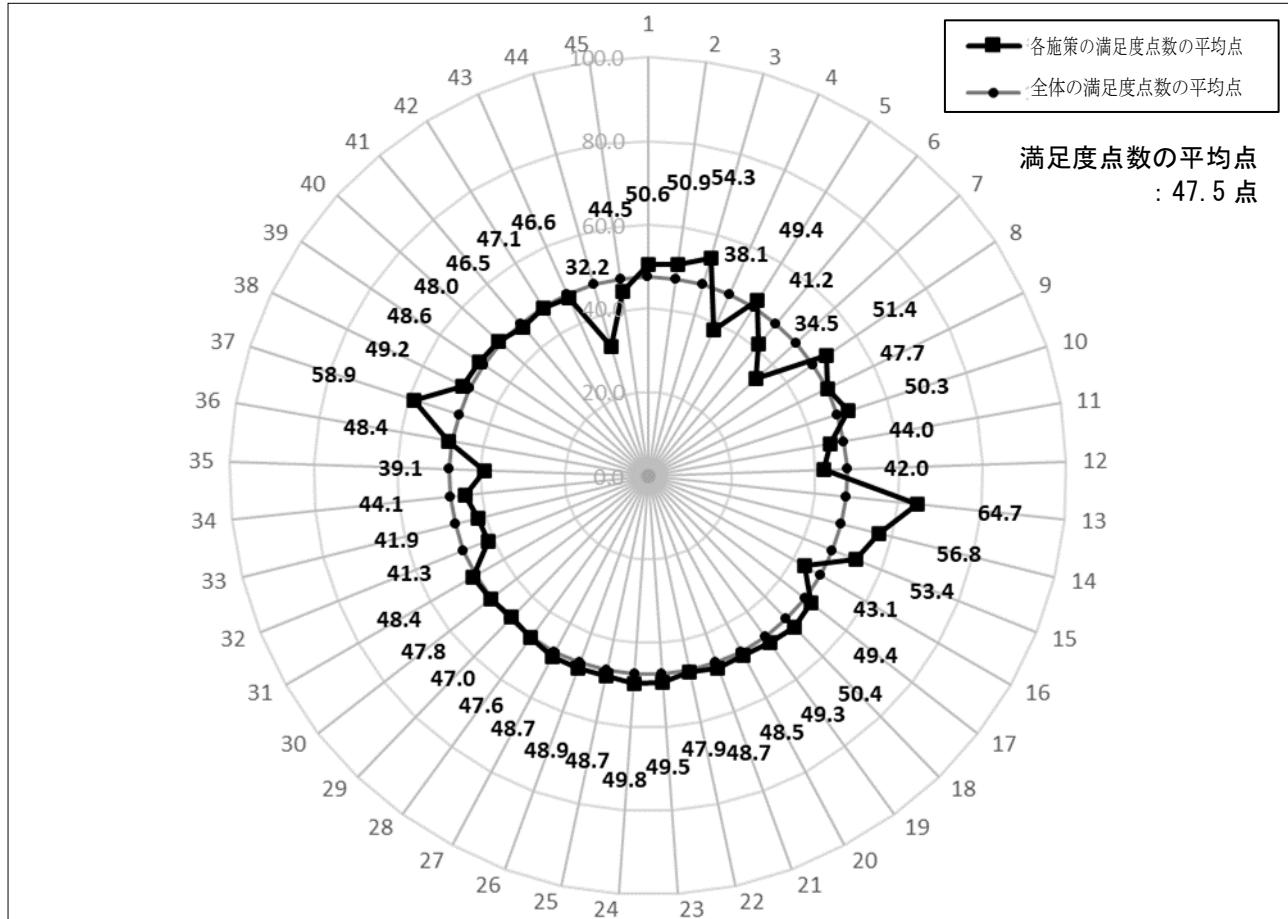
3. 田上町の今後のまちづくりについて、おたずねします

問8. 田上町での暮らしについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」をおたずねします。全45項目に関して、「①満足度」と「②重要度」の各選択肢からあてはまるものを、それぞれ1つずつ、○をつけてください。

【満足度】

- 45項目の基本施策への回答を数値化し「満足度点数」を求めたところ、全施策の満足度点数の平均点は47.5点で、前回（R2年度）の調査と比べて-0.5点でした。
- 平均点を大きく上回る基本施策として「13. 水道の安定供給」（64.7点）、「37. 地域資源を活用した活動の促進」（58.9点）、「14. 保健事業の充実」（56.8点）などが挙げられました。
- 一方、満足度の低い基本施策は、「44. 人口問題への対応」（32.2点）、「7. 公共交通の充実」（34.5点）、「4. 雪対策の強化」（38.1点）が挙げられました。

・満足度点数の平均点

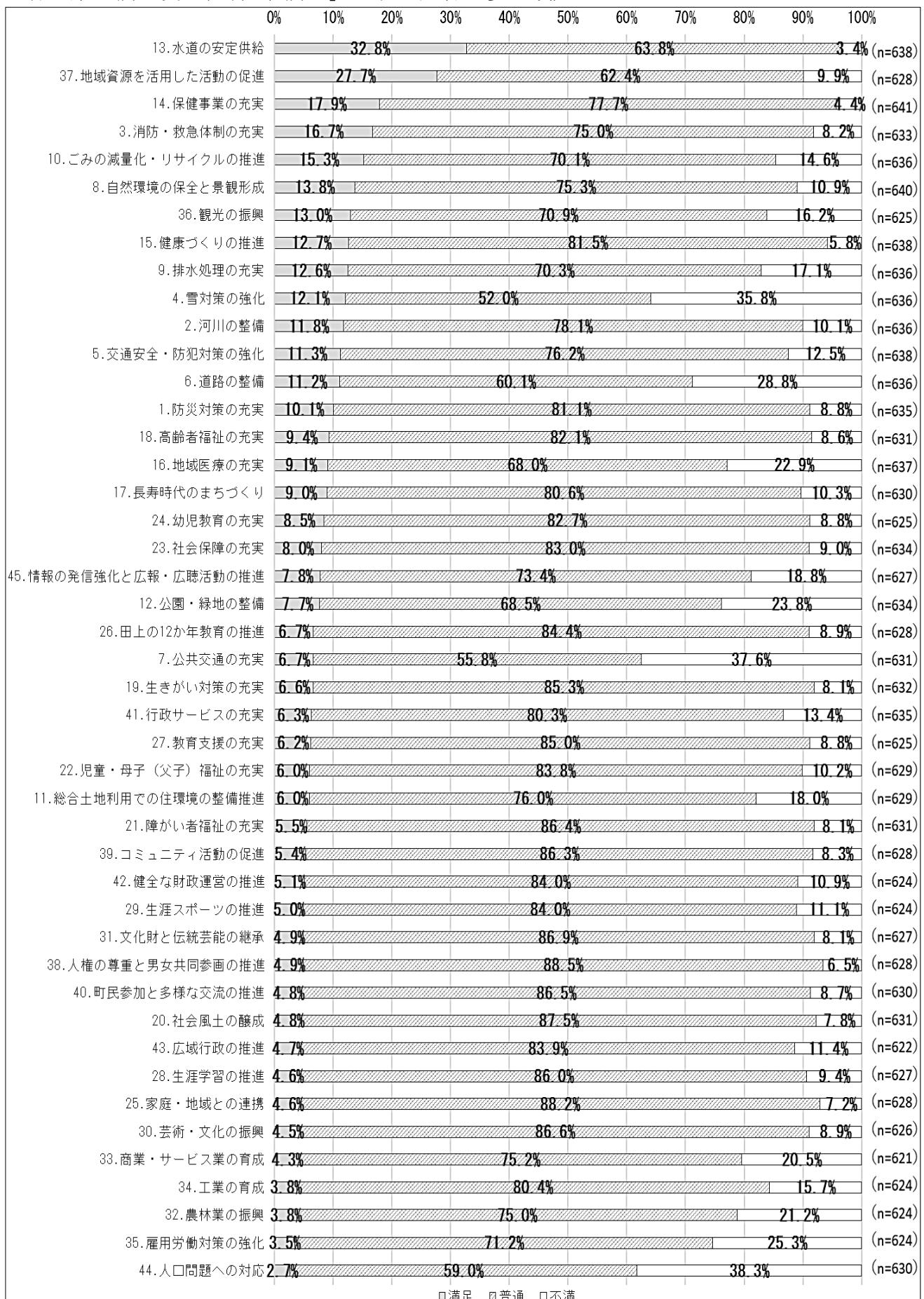


1. 防災対策の充実 2. 河川の整備 3. 消防・救急体制の充実 4. 雪対策の強化 5. 交通安全・防犯対策の強化
6. 道路の整備 7. 公共交通の充実 8. 自然環境の保全と景観形成 9. 排水処理の充実
10. ごみの減量化・リサイクルの推進 11. 総合土地利用での住環境の整備推進 12. 公園・緑地の整備
13. 水道の安定供給 14. 保健事業の充実 15. 健康づくりの推進 16. 地域医療の充実 17. 長寿時代のまちづくり
18. 高齢者福祉の充実 19. 生きがい対策の充実 20. 社会風土の醸成 21. 障がい者福祉の充実
22. 児童・母子（父子）福祉の充実 23. 社会保障の充実 24. 幼児教育の充実 25. 家庭・地域との連携
26. 田上の12か年教育の推進 27. 教育支援の充実 28. 生涯学習の推進 29. 生涯スポーツの推進
30. 芸術・文化的振興 31. 文化財と伝統芸能の継承 32. 農林業の振興 33. 商業・サービス業の育成
34. 工業の育成 35. 雇用労働対策の強化 36. 観光の振興 37. 地域資源を活用した活動の促進
38. 人権の尊重と男女共同参画の推進 39. コミュニティ活動の促進 40. 市民参加と多様な交流の推進
41. 行政サービスの充実 42. 健全な財政運営の推進 43. 広域行政の推進 44. 人口問題への対応
45. 情報の発信強化と広報・広聴活動の推進

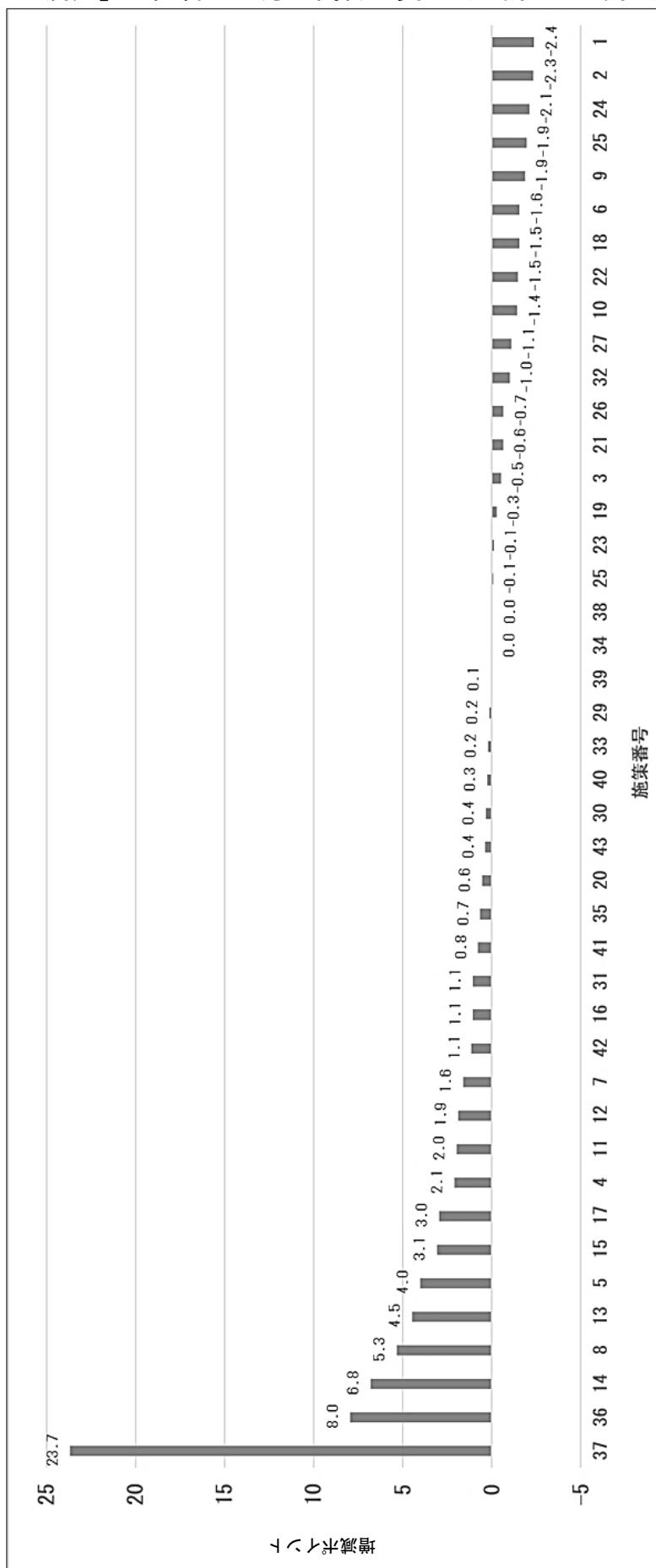
【満足度の数値化】

- ・「満足」：100点、「普通」：50点、「不満」：0点で集計し、その値を回答者数で除した点数（平均点）

・各施策の満足度の割合（「満足」とする回答が多い順）



・「満足」と回答した方の割合の変化（R7 調査－R2 調査）

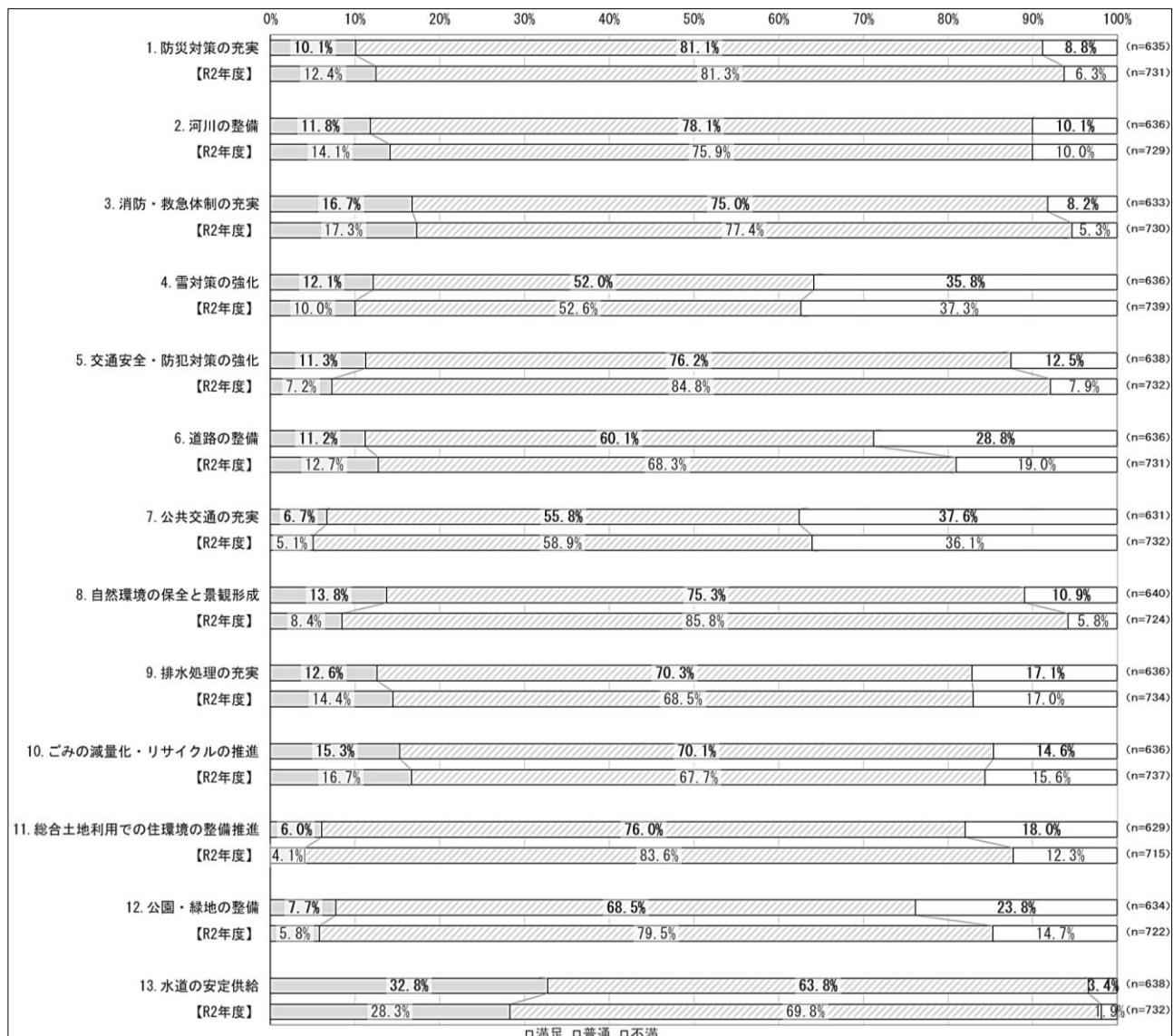


- 37.地域資源を活用した活動の促進 36.観光の振興 14.保健事業の充実 8.自然環境の保全と景観形成 13.水道の安定供給 5.交通安全・防犯対策の強化 15.健康づくりの推進
 17.長寿時代のまちづくり 4.雪対策の強化 11.総合土地利用での住環境の整備7.公共交通の充実 12.公園・緑地の整備7.公共交通の充実 42.健全な財政運営の推進 31.文化財と伝統芸能の継承
 41.行政サービスの充実 35.雇用労働対策の強化 20.社会福利の醸成 43.広域行政の推進 30.芸術・文化の振興 40.町民参加と多様な交流の推進 33.商業・サービス業の育成 29.生涯スポーツの推進
 39.コミュニティ活動の促進 34.工業の育成 38.人権の尊重と男女共同参画の推進 28.生涯学習の推進 23.社会保障の充実 19.生きがい対策の充実 3.消防・救急体制の充実 21.障がい者福祉の充実
 26.田上の12か年教育の推進 32.農林業の振興 27.教育支援の充実 10.ごみの減量化・リサイクルの推進 22.児童・母子（父子）福祉の充実 18.高齢者福祉の充実 6.道路の整備 9.排水処理の充実
 25.家庭・地域との連携 24.幼児教育の充実 2.河川の整備 1.防災対策の充実

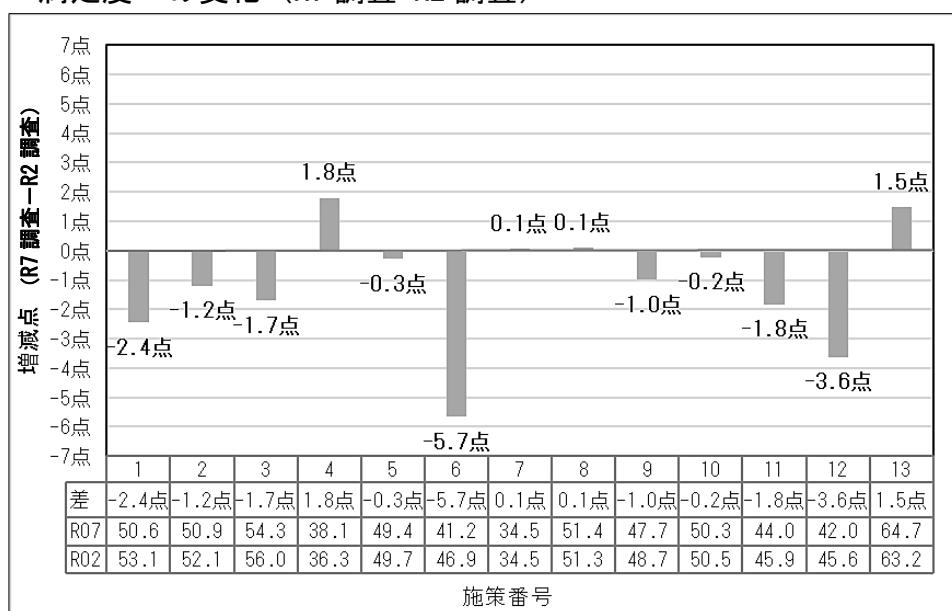
* 「44. 人口問題への対応」、「45. 情報の発信強化と広報・広聴活動の推進」については、今回調査より追加になった項目のため、R2 調査結果との増減比較は行っていません。

・分野ごとにみた前回値（R2 年度調査）との比較

A. 誰もが安心して暮らせるまち（満足度の割合）



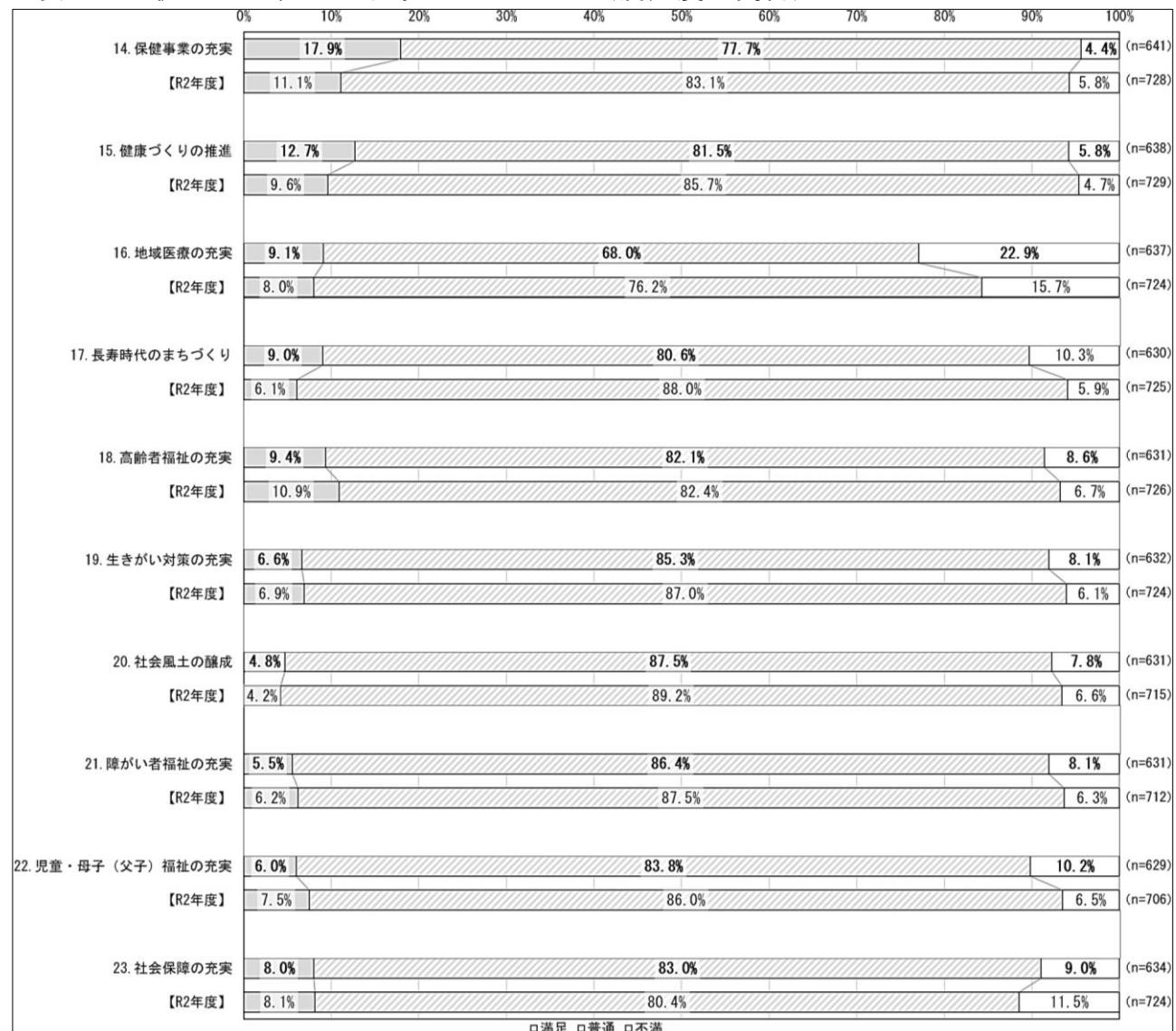
・満足度^{※1}の変化（R7 調査-R2 調査）



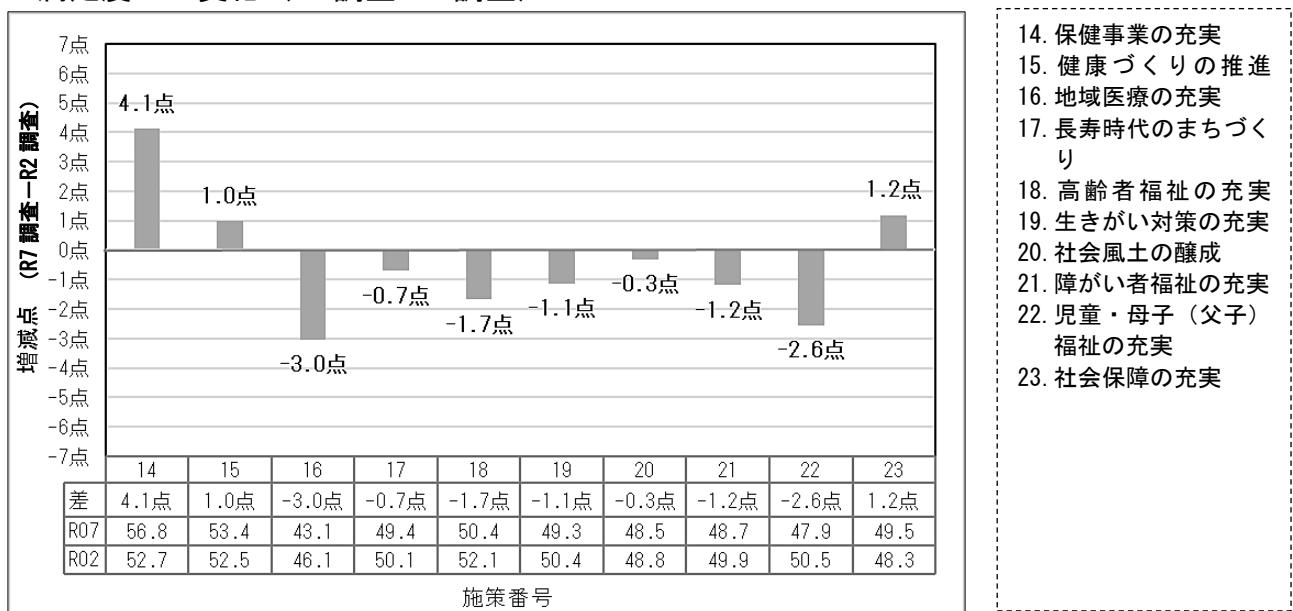
- 1. 防災対策の充実
- 2. 河川の整備
- 3. 消防・救急体制の充実
- 4. 雪対策の強化
- 5. 交通安全・防犯対策の強化
- 6. 道路の整備
- 7. 公共交通の充実
- 8. 自然環境の保全と景観形成
- 9. 排水処理の充実
- 10. ごみの減量化・リサイクルの推進
- 11. 総合土地利用での住環境の整備推進
- 12. 公園・緑地の整備
- 13. 水道の安定供給

※1【満足度の数値化】「満足」：100 点、「普通」：50 点、「不満」：0 点で集計し、その値を回答者数で除した点数（平均点）

B. 安心して健やかにすごせるあたたかいまち（満足度の割合）

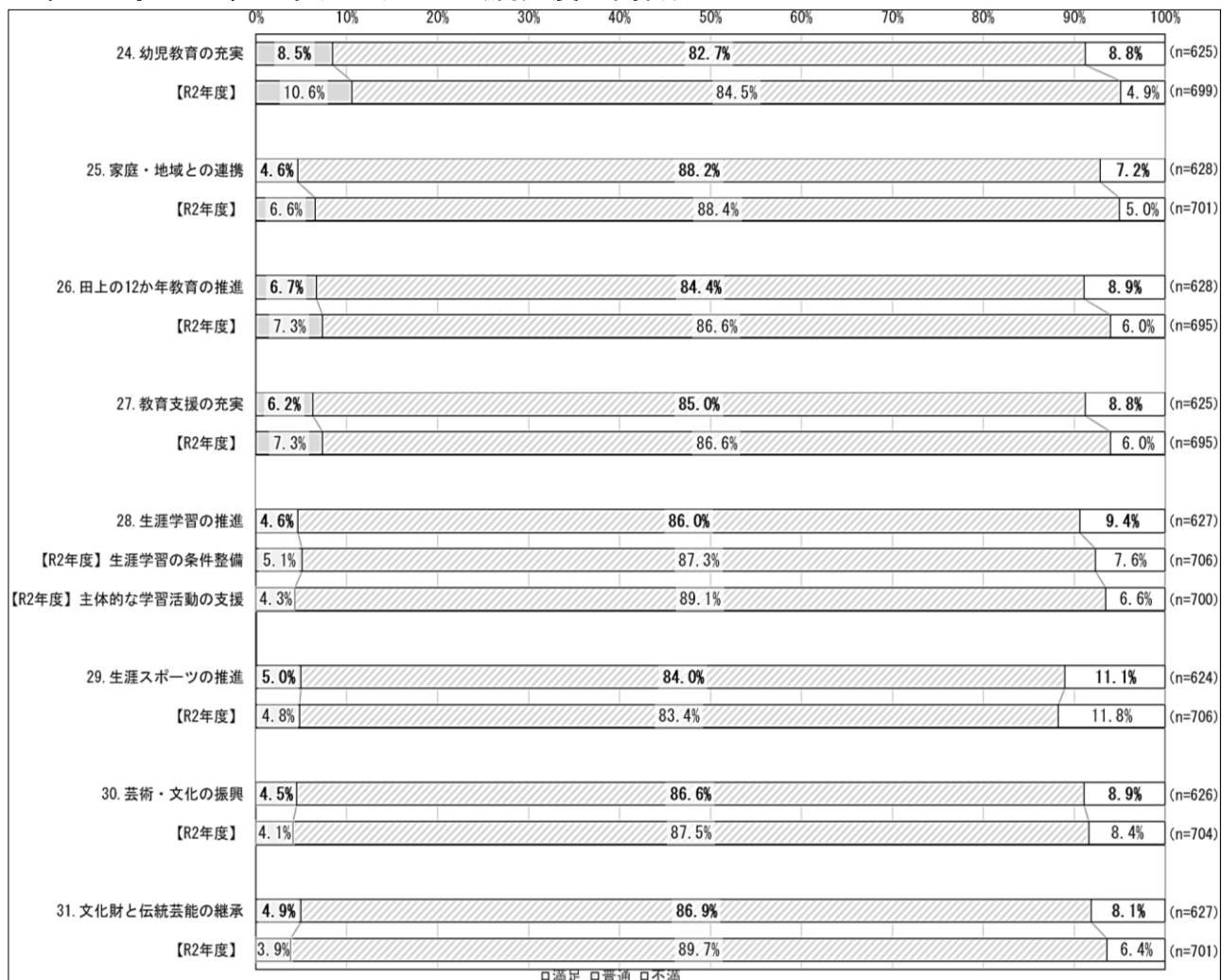


・満足度※1 の変化 (R7 調査-R2 調査)

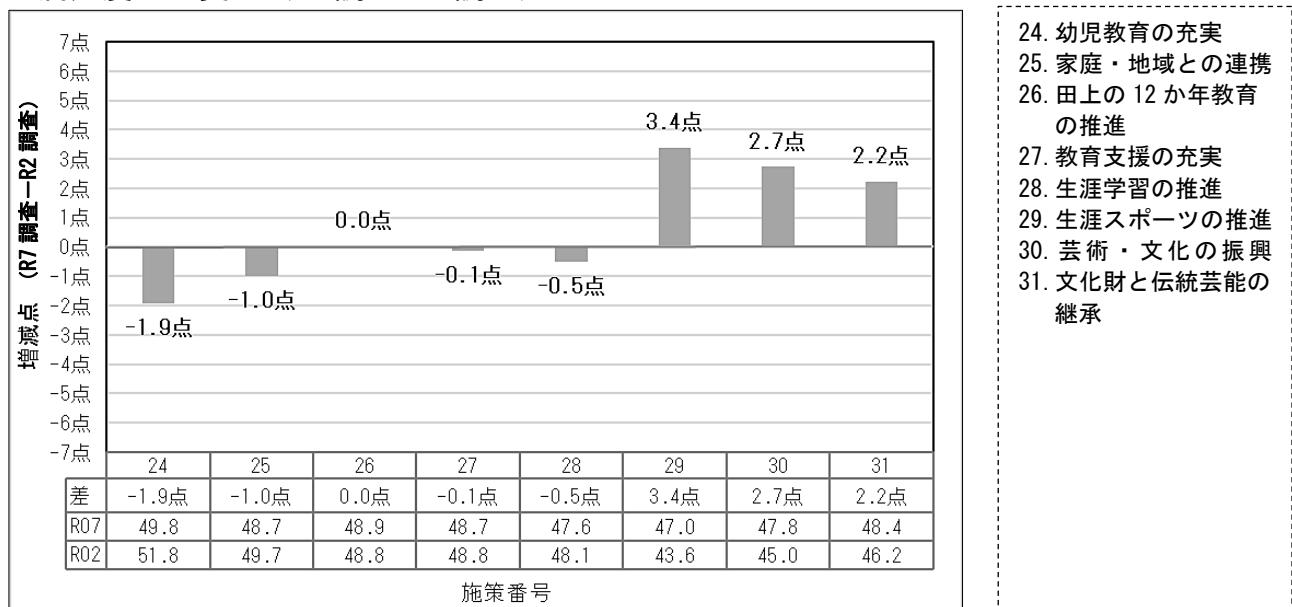


※1【満足度の数値化】「満足」：100点、「普通」：50点、「不満」：0点で集計し、その値を回答者数で除した点数（平均点）

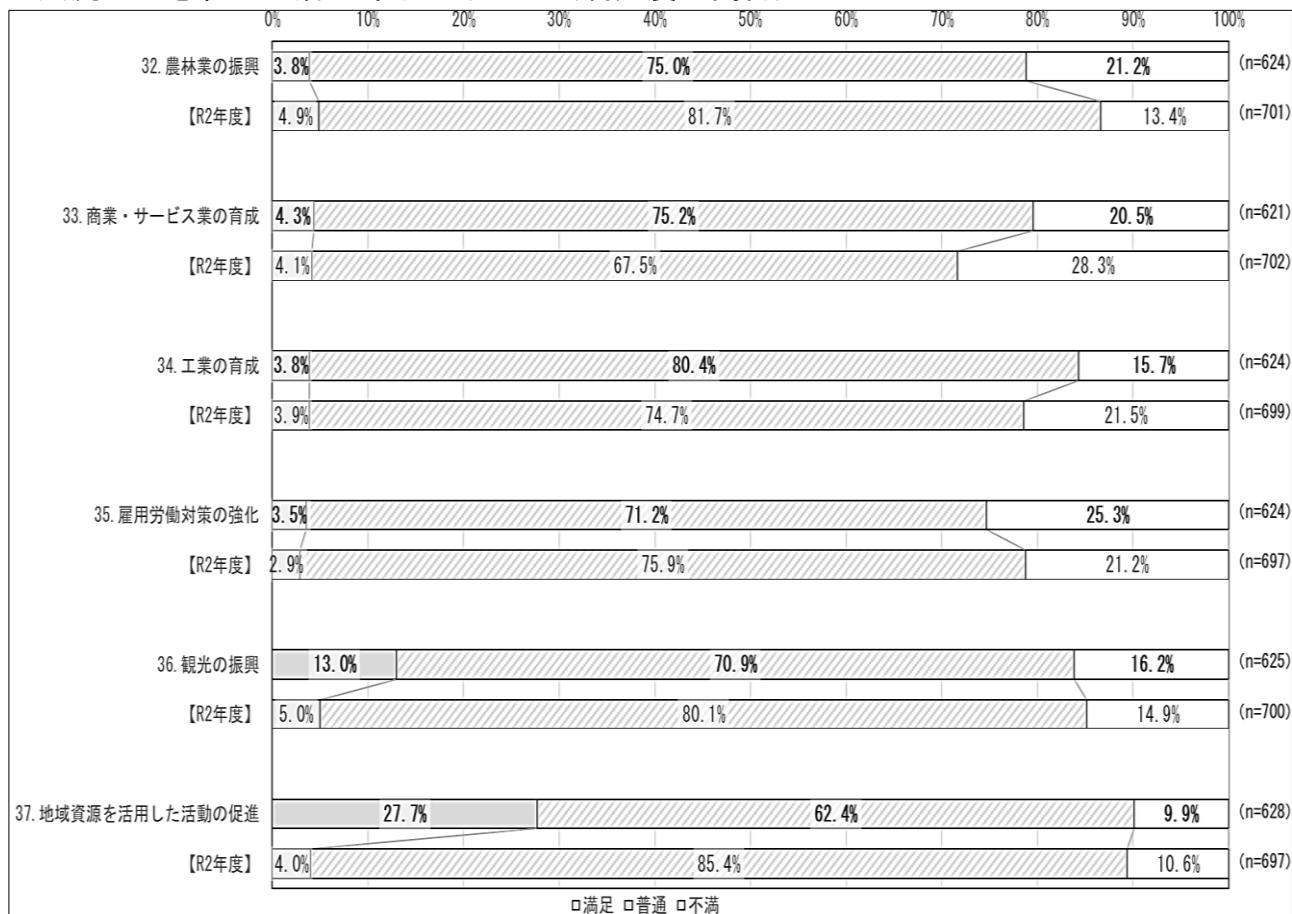
C. 集いと学びで希望あふれるまち（満足度の割合）



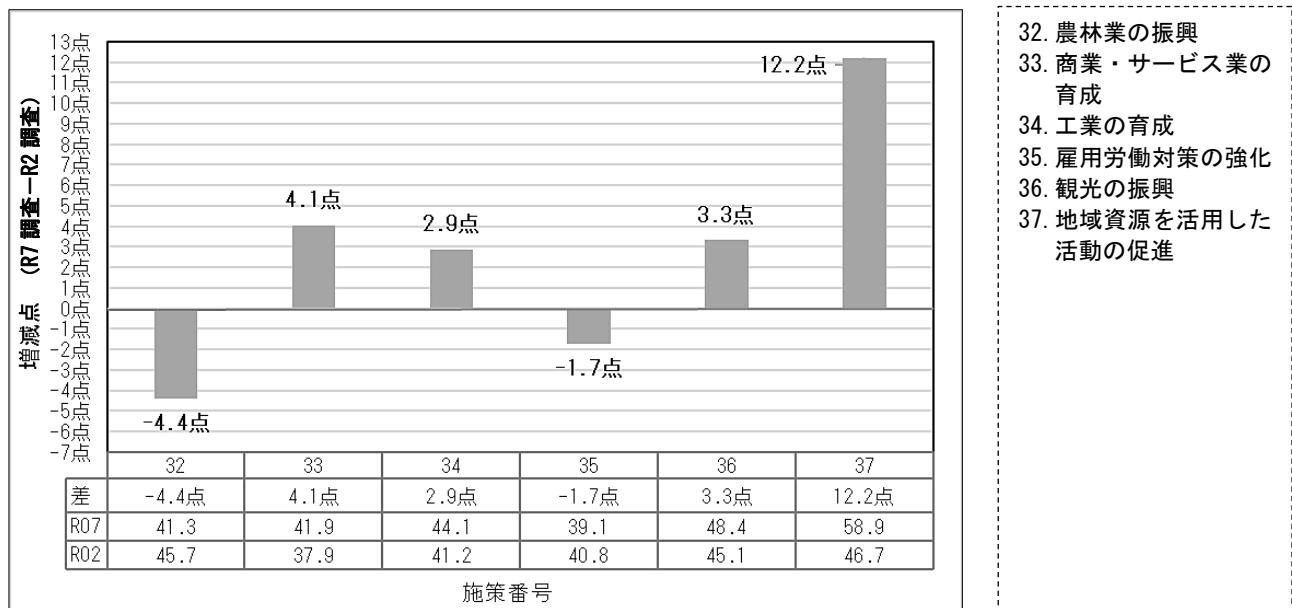
・満足度^{※1}の変化 (R7 調査-R2 調査)



D. 交流とにぎわいで活力あふれるまち（満足度の割合）

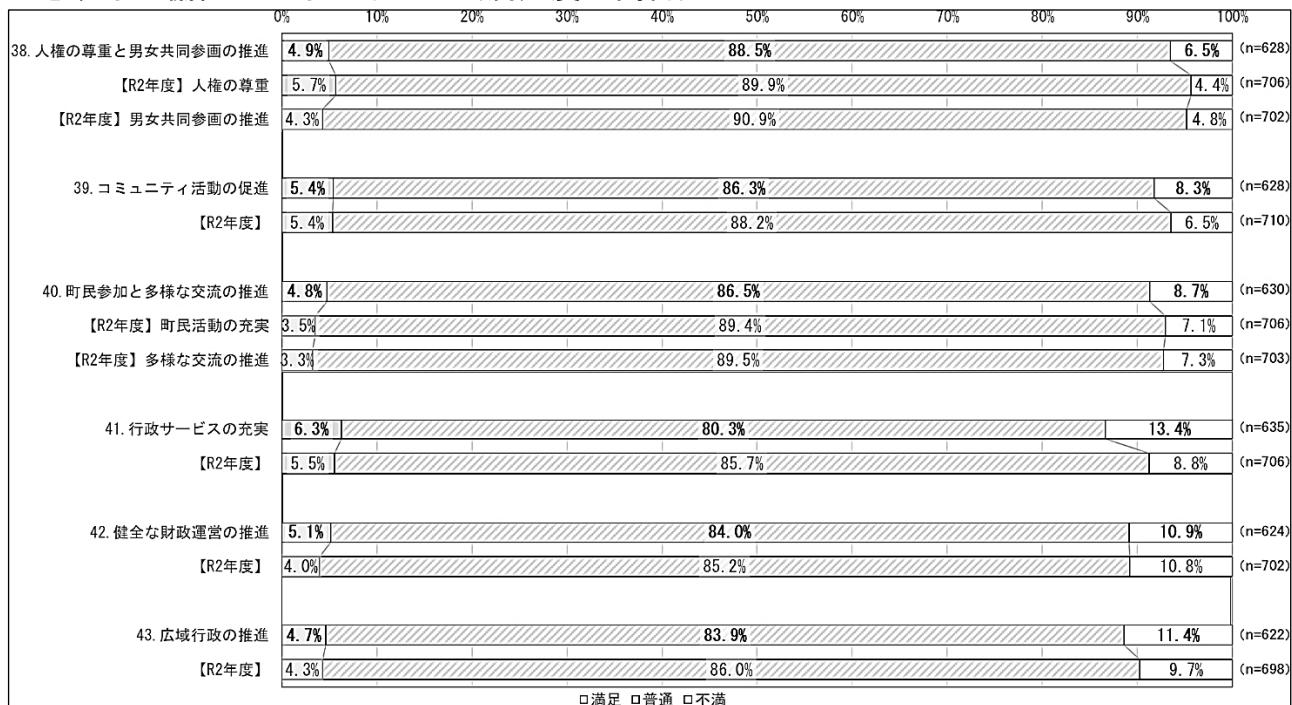


・満足度^{※1}の変化 (R7 調査-R2 調査)

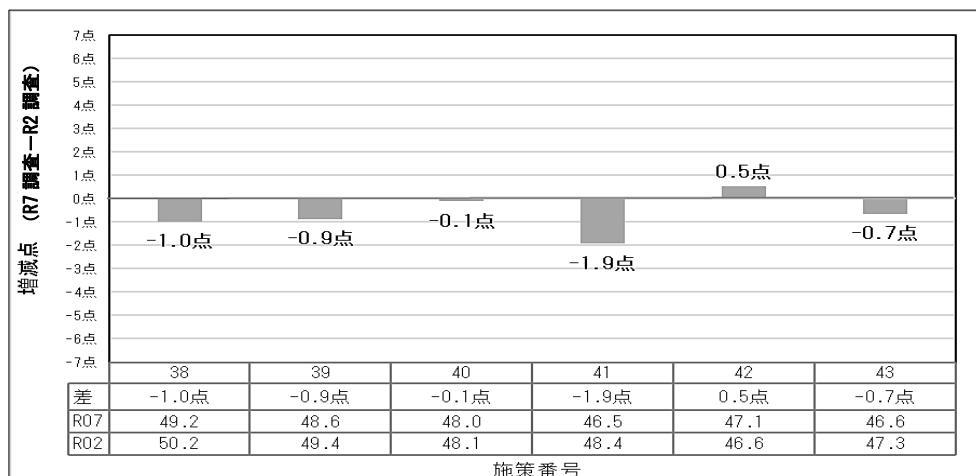


※1【満足度の数値化】「満足」：100点、「普通」：50点、「不満」：0点で集計し、その値を回答者数で除した点数（平均点）

E. きずなと協働でつながるまち（満足度の割合）

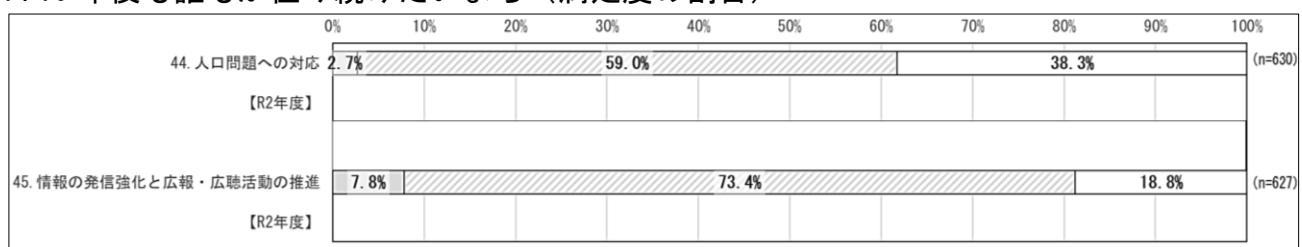


・満足度※1の変化 (R7 調査-R2 調査)

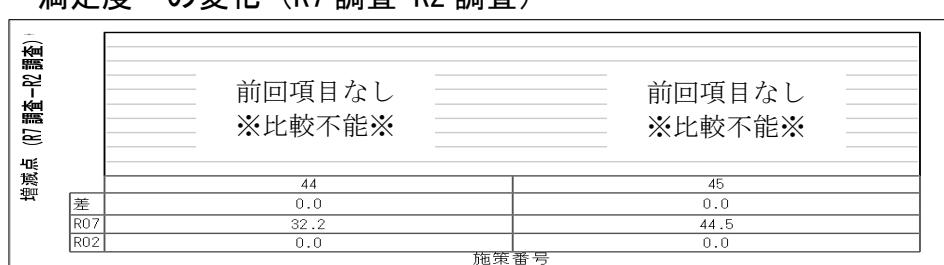


- 38. 人権の尊重と男女共同参画の推進
- 39. コミュニティ活動の促進
- 40. 町民参加と多様な交流の推進
- 41. 行政サービスの充実
- 42. 健全な財政運営の推進
- 43. 広域行政の推進

F. 10年後も誰もが住み続けたいまち（満足度の割合）



・満足度※1の変化 (R7 調査-R2 調査)



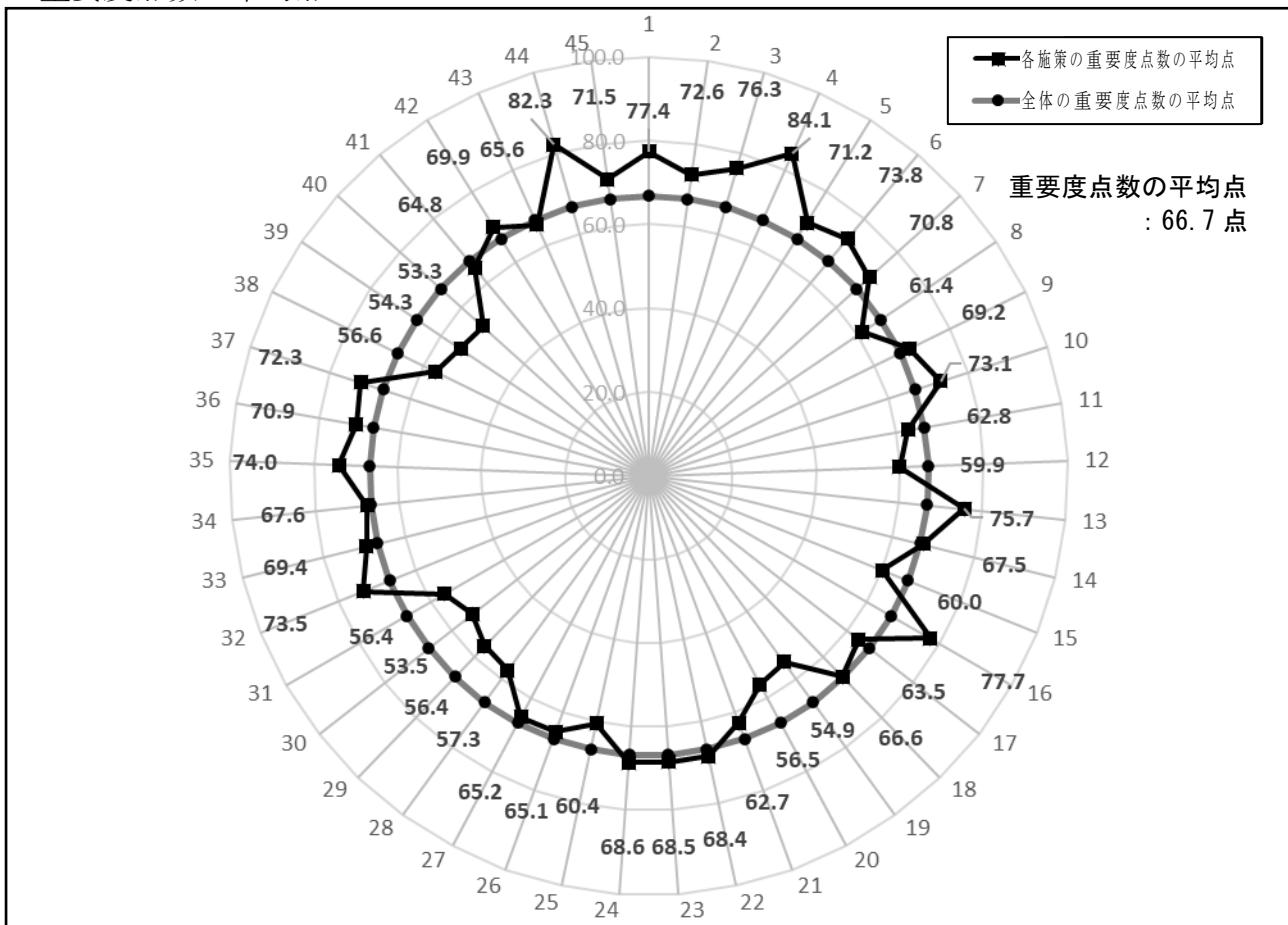
- 44. 人口問題への対応
- 45. 情報の発信強化と広報・広聴活動の推進

※1【満足度の数値化】「満足」:100点、「普通」:50点、「不満」:0点で集計し、その値を回答者数で除した点数(平均点)

【重要度】

- 45項目の基本施策への回答を数値化し「重要度点数」を求めたところ、全施策の重要度点数の平均点は66.7点で、前回（R2年度）の調査と比べて+1.5点でした。
- 重要度が高い基本施策として「4.雪対策の強化」(84.1点)、「44.人口問題への対応」(82.3点)が80点を超えました。
- 一方、重要度の低い基本施策は、「40.町民参加と多様な交流の推進」(53.3点)、「39.コミュニティ活動の促進」(54.3点)、「19.生きがい対策の充実」(54.9点)などが挙げられました。

・重要度点数の平均点

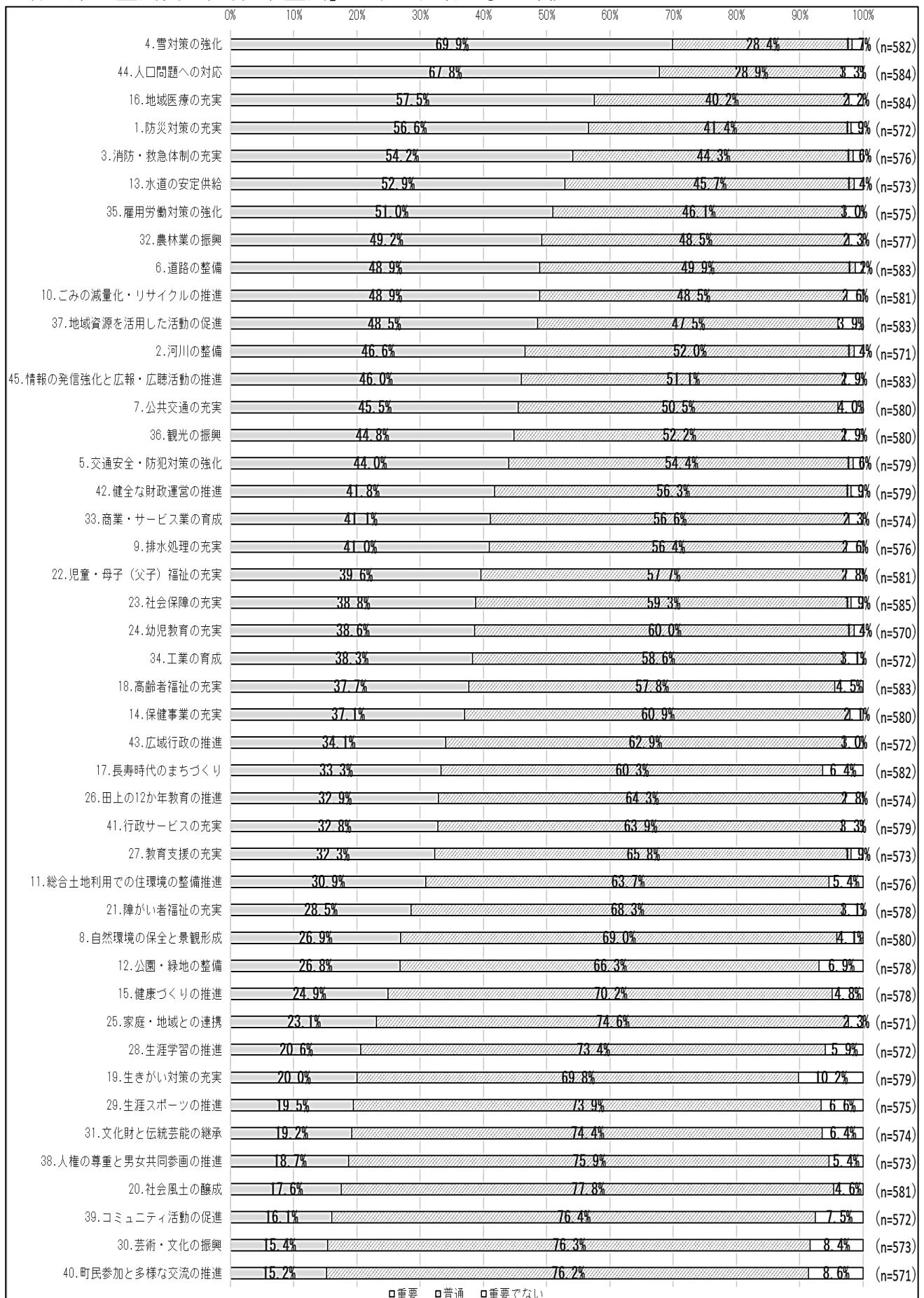


1. 防災対策の充実
2. 河川の整備
3. 消防・救急体制の充実
4. 雪対策の強化
5. 交通安全・防犯対策の強化
6. 道路の整備
7. 公共交通の充実
8. 自然環境の保全と景観形成
9. 排水処理の充実
10. ごみの減量化・リサイクルの推進
11. 総合土地利用での住環境の整備推進
12. 公園・緑地の整備
13. 水道の安定供給
14. 保健事業の充実
15. 健康づくりの推進
16. 地域医療の充実
17. 長寿時代のまちづくり
18. 高齢者福祉の充実
19. 生きがい対策の充実
20. 社会風土の醸成
21. 障がい者福祉の充実
22. 児童・母子（父子）福祉の充実
23. 社会保障の充実
24. 幼児教育の充実
25. 家庭・地域との連携
26. 田上の12か年教育の推進
27. 教育支援の充実
28. 生涯学習の推進
29. 生涯スポーツの推進
30. 芸術・文化の振興
31. 文化財と伝統芸能の継承
32. 農林業の振興
33. 商業・サービス業の育成
34. 工業の育成
35. 雇用労働対策の強化
36. 観光の振興
37. 地域資源を活用した活動の促進
38. 人権の尊重と男女共同参画の推進
39. コミュニティ活動の促進
40. 町民参加と多様な交流の推進
41. 行政サービスの充実
42. 健全な財政運営の推進
43. 広域行政の推進
44. 人口問題への対応
45. 情報の発信強化と広報・広聴活動の推進

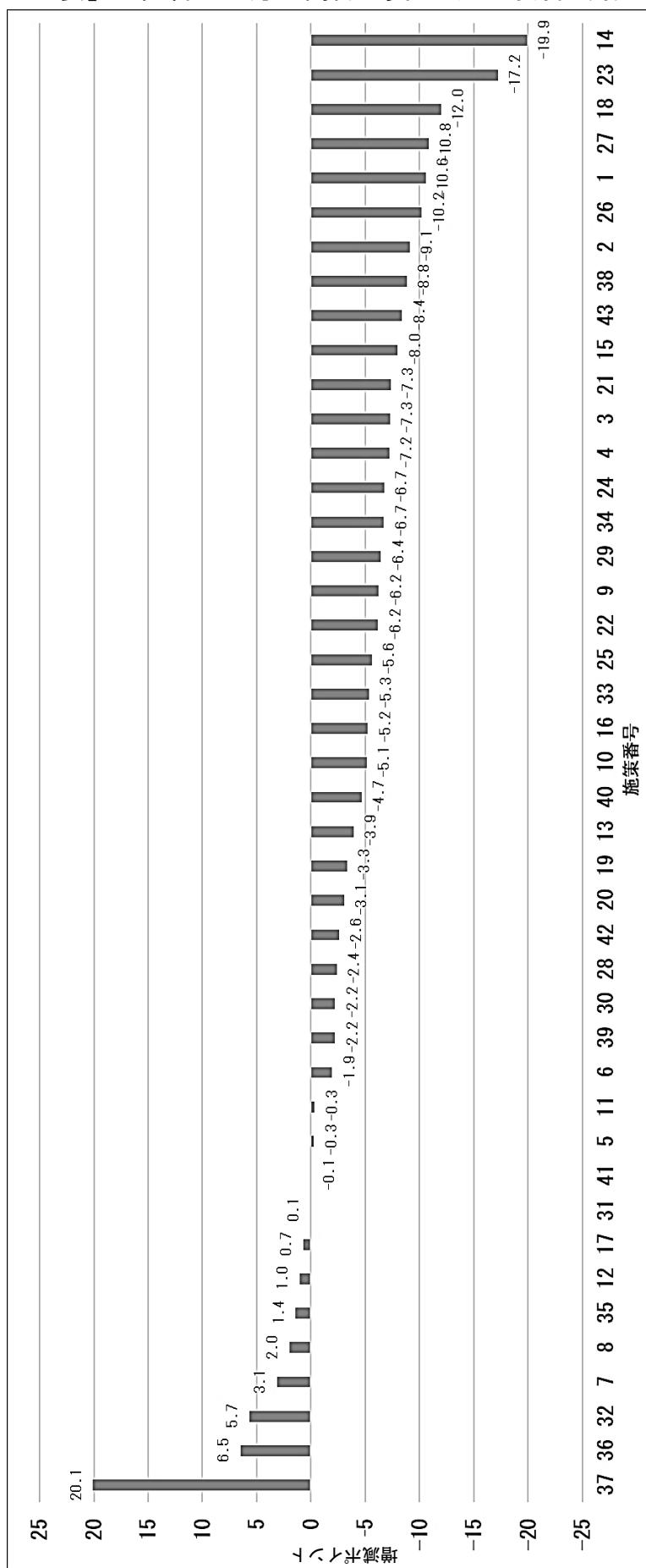
【重要度の数値化】

・「重要」：100点、「普通」：50点、「重要でない」：0点で集計し、その値を回答者数で除した点数（平均点）

・各施策の重要度の割合（「重要」とする回答が多い順）



・「重要」と回答した方の割合の変化 (R7 重要度の割合 - R2 重要度の割合)

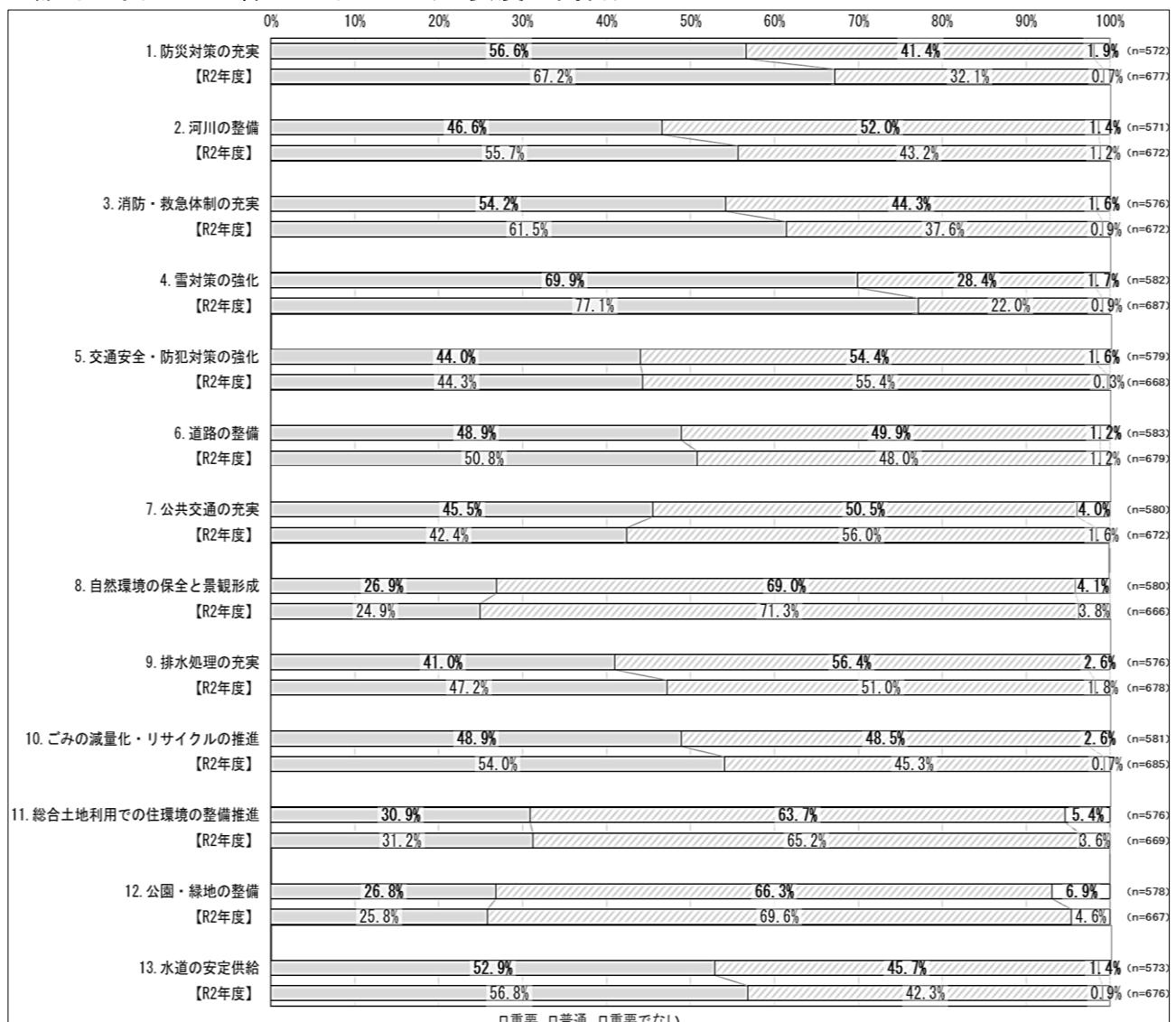


37.地域資源を活用した活動の促進 36.観光の振興 32.農林業の振興 7.公共交通の充実 8.自然環境の保全と景観形成 35.雇用労働対策の強化 12.公園・緑地の整備 17.長寿時代のまちづくり
 31.文化財と伝統芸能の継承 41.行政サービスの充実 5.交通安全・防犯対策の強化 11.総合土地利用での住環境の整備推進 39.コミュニティ活動の促進 30.芸術・文化の振興
 28.生涯学習の推進 42.健全な財政運営の推進 20.社会風土の醸成 19.生きがい対策の充実 13.水道の安定供給 40.市民参加と多様な交流の推進 10.ごみの減量化・リサイクルの推進
 16.地域医療の充実 33.商業・サービス業の育成 25.家庭・地域との連携 22.児童・母子（父子）福祉の充実 9.排水処理の充実 29.生涯スポーツの推進 34.工業の充実
 4.雪対策の強化 3.消防・救急体制の充実 21.障がい者福祉の充実 15.健康づくりの推進 38.人権の尊重と男女共同参画の推進 2.河川の整備 26.田上の12か年教育の推進
 1.防災対策の充実 27.教育支援の充実 18.高齢者福祉の充実 23.社会保障の充実 14.保健事業の充実

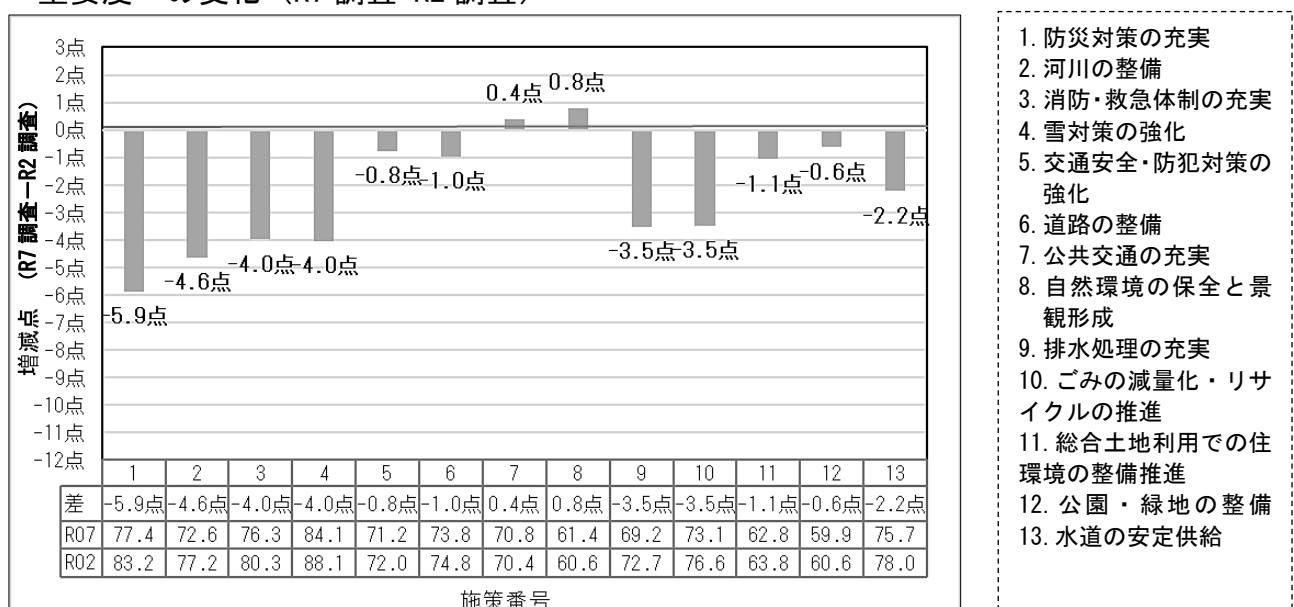
※ 「44. 人口問題への対応」、「45. 情報の発信強化と広報・広聴活動の推進」については、今回調査より追加になった項目のため、R2 調査結果との増減比較は行っていません。

・分野ごとにみた前回値（R2 年度調査）との比較

A. 誰もが安心して暮らせるまち（重要度の割合）

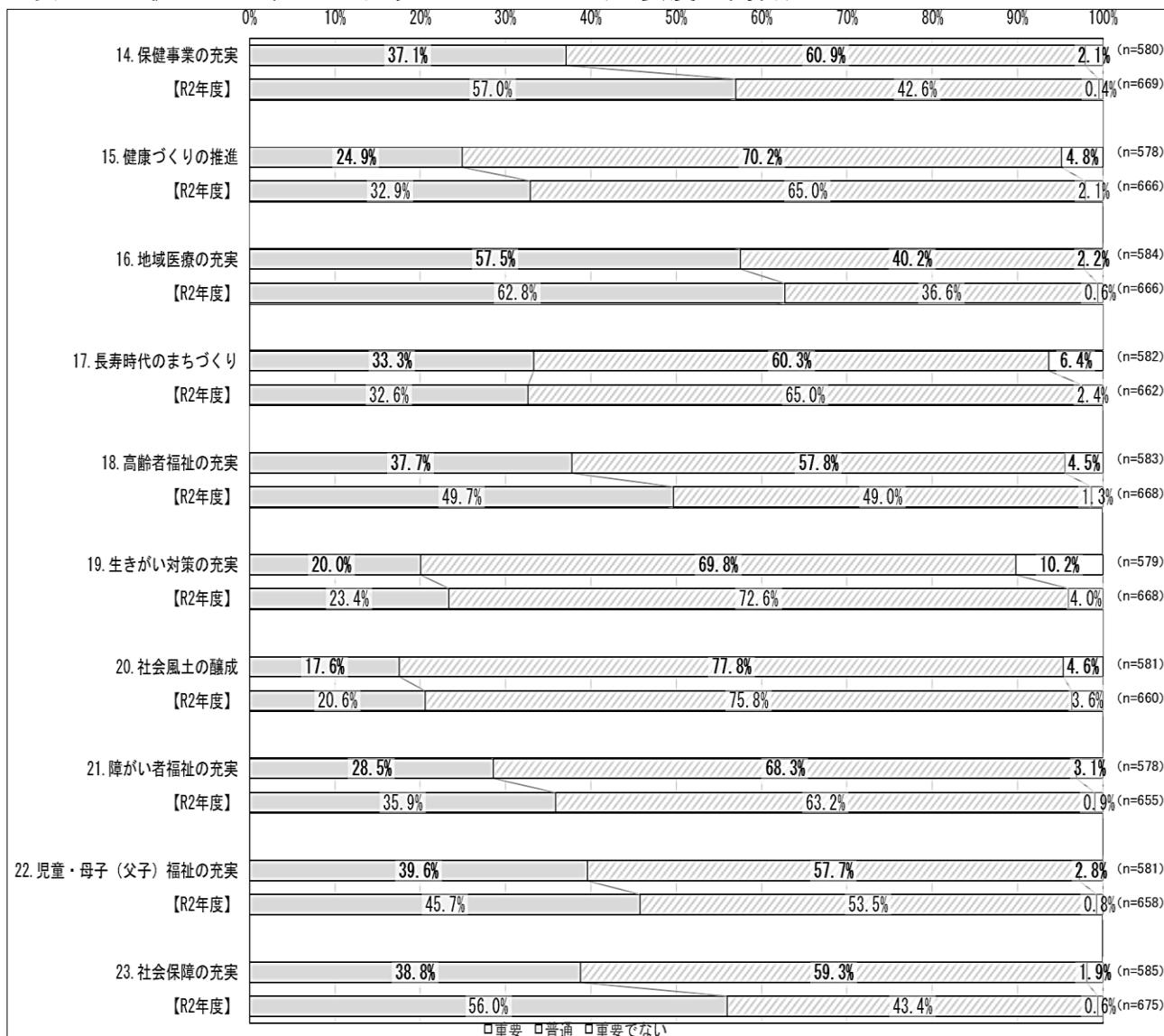


・重要度^{※2}の変化（R7 調査-R2 調査）

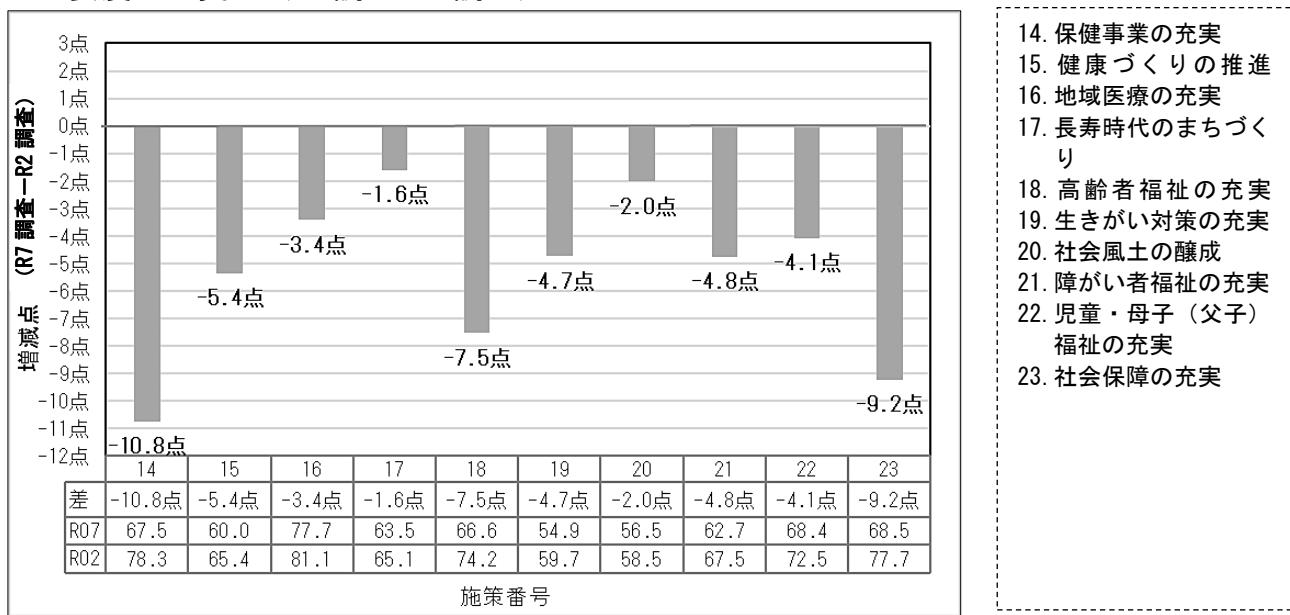


※2【重要度の数値化】「重要」：100 点、「普通」：50 点、「重要でない」：0 点で集計し、その値を回答者数で除した点数（平均点）

B. 安心して健やかにすごせるあたたかいまち（重要度の割合）

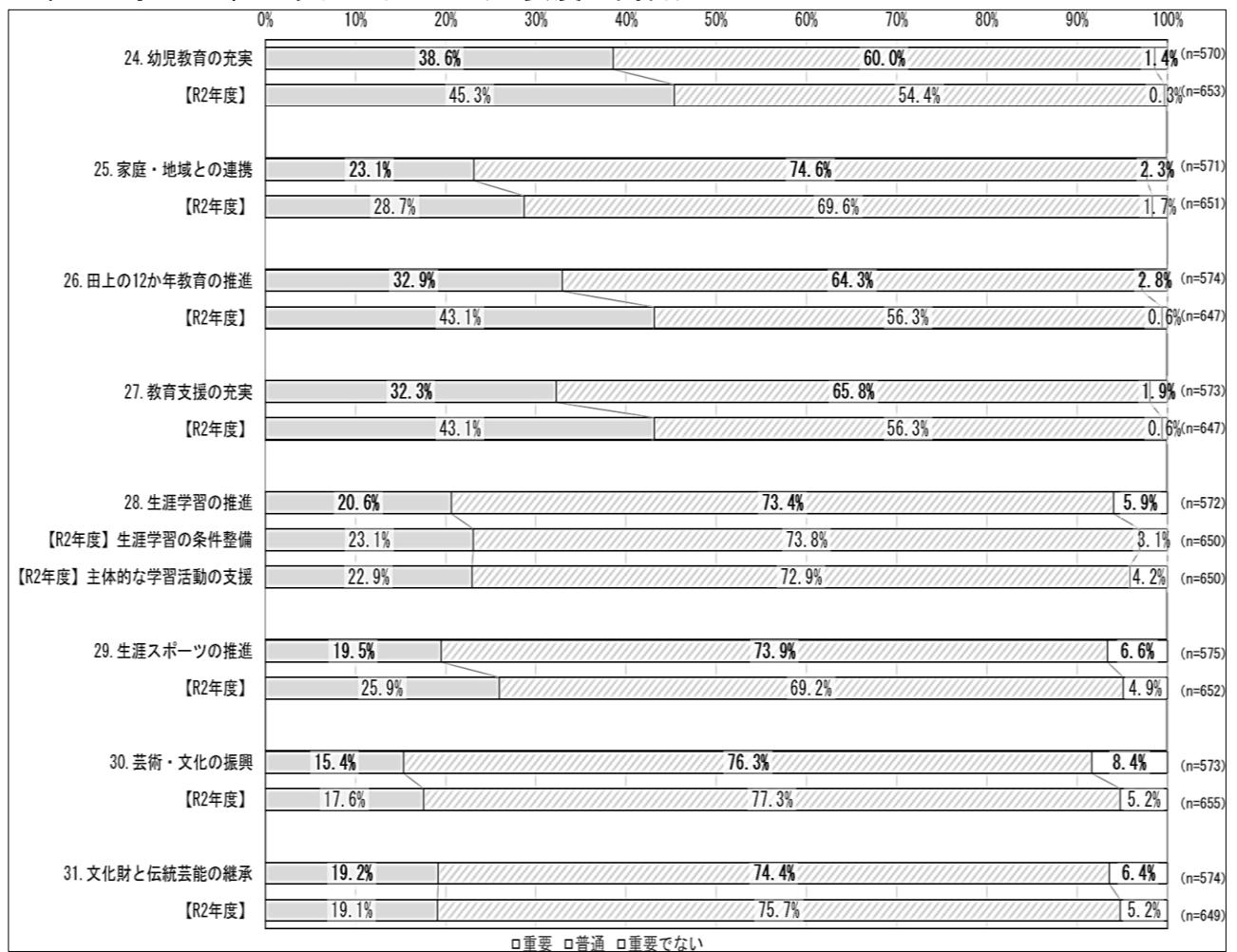


・重要度^{※2}の変化（R7 調査-R2 調査）

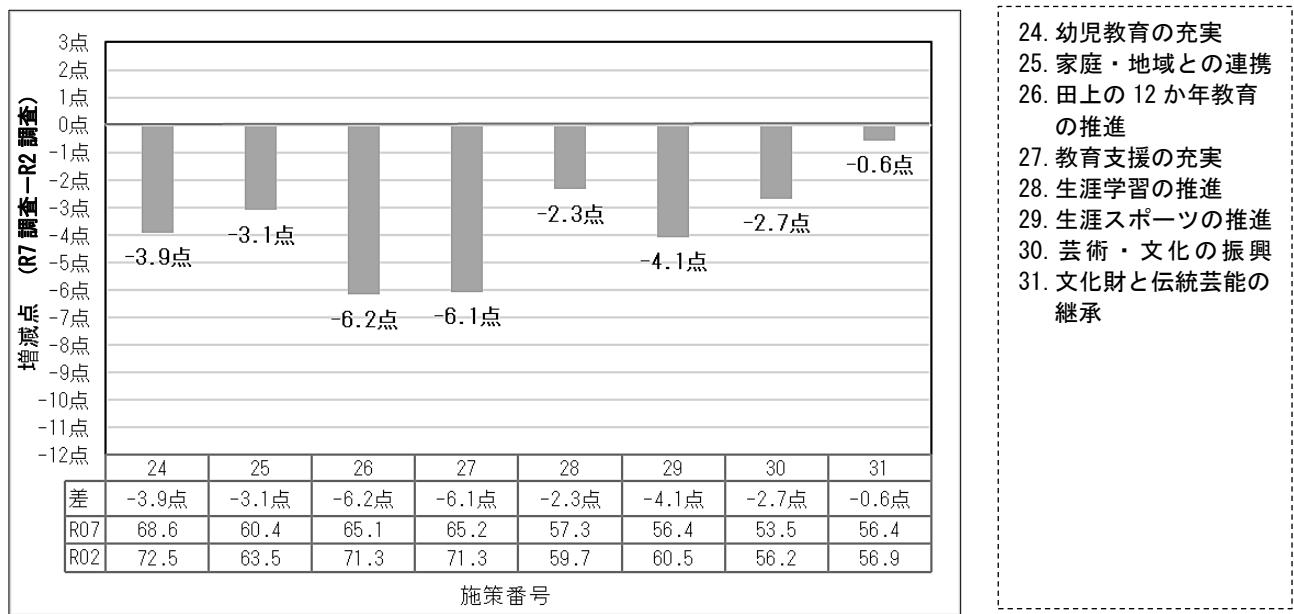


※2【重要度の数値化】「重要」：100点、「普通」：50点、「重要でない」：0点で集計し、その値を回答者数で除した点数（平均点）

C. 集いと学びで希望あふれるまち（重要度の割合）

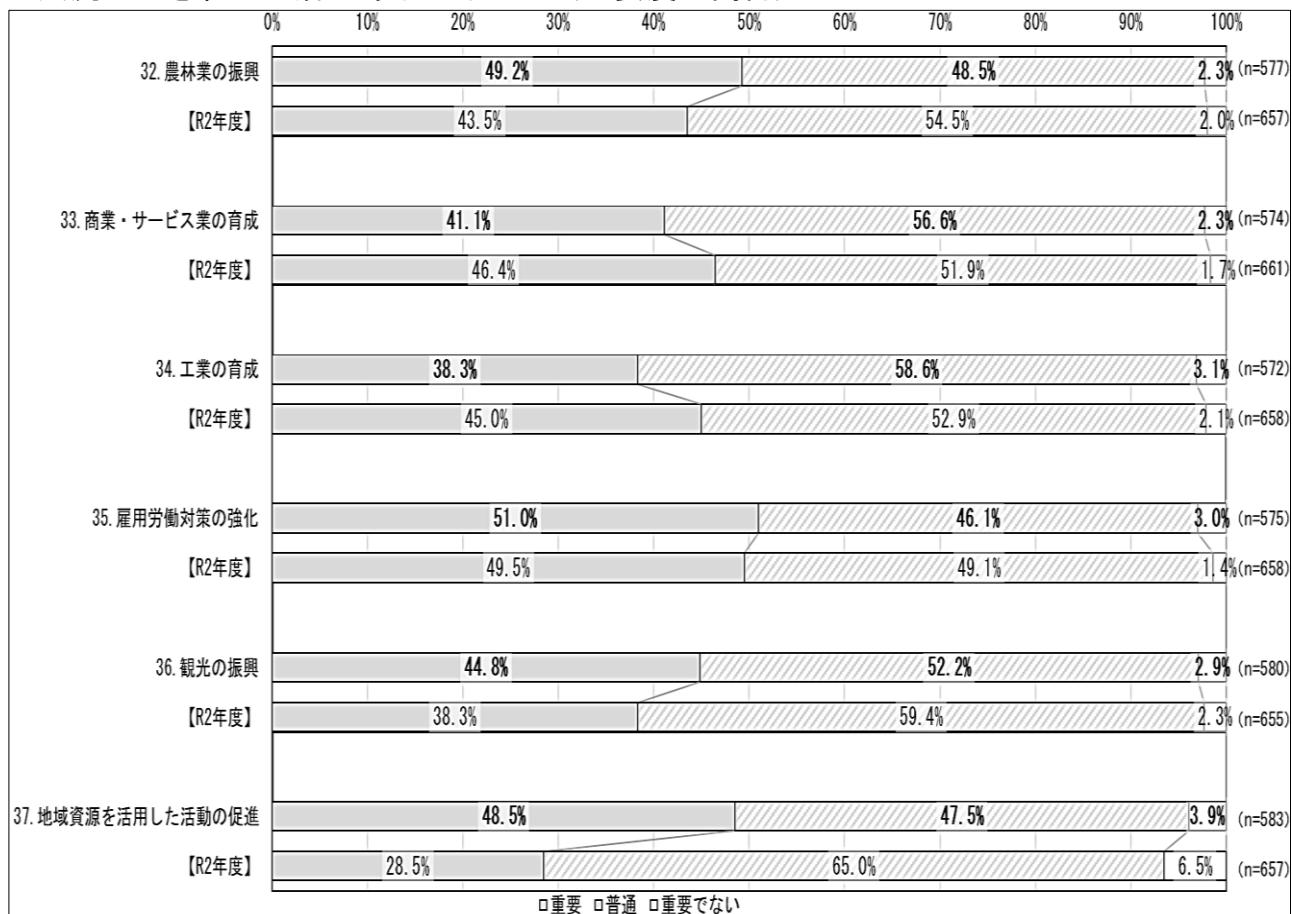


・重要度^{※2}の変化 (R7調査-R2調査)

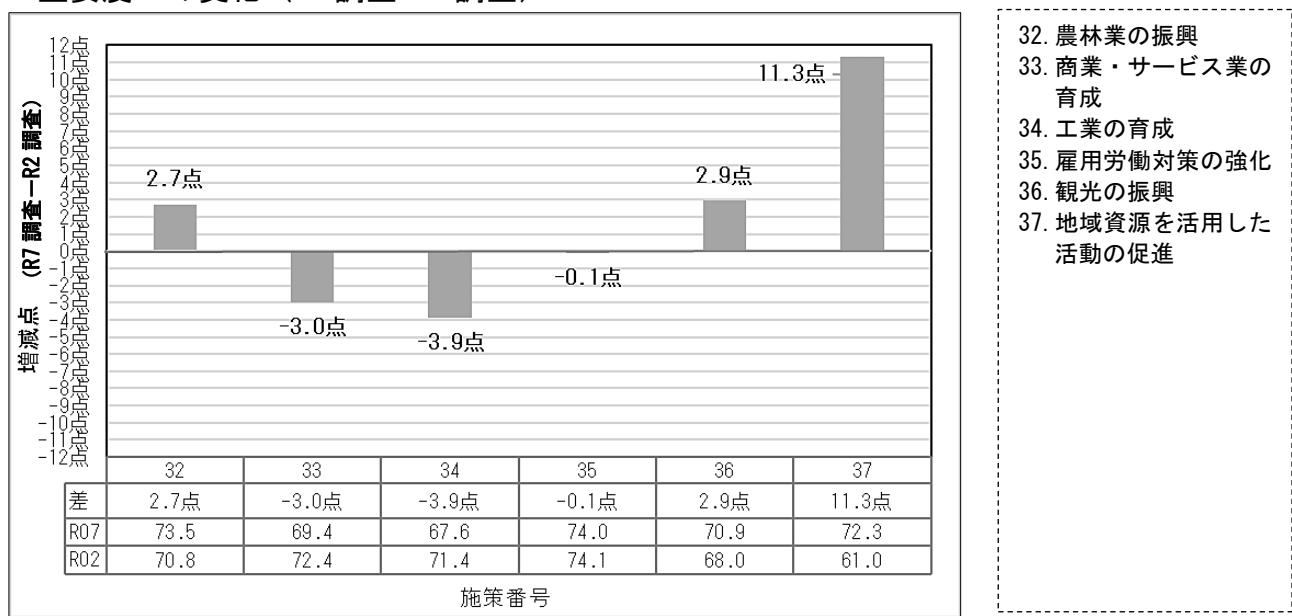


※2【重要度の数値化】「重要」：100点、「普通」：50点、「重要でない」：0点で集計し、その値を回答者数で除した点数（平均点）

D. 交流とにぎわいで活力あふれるまち（重要度の割合）

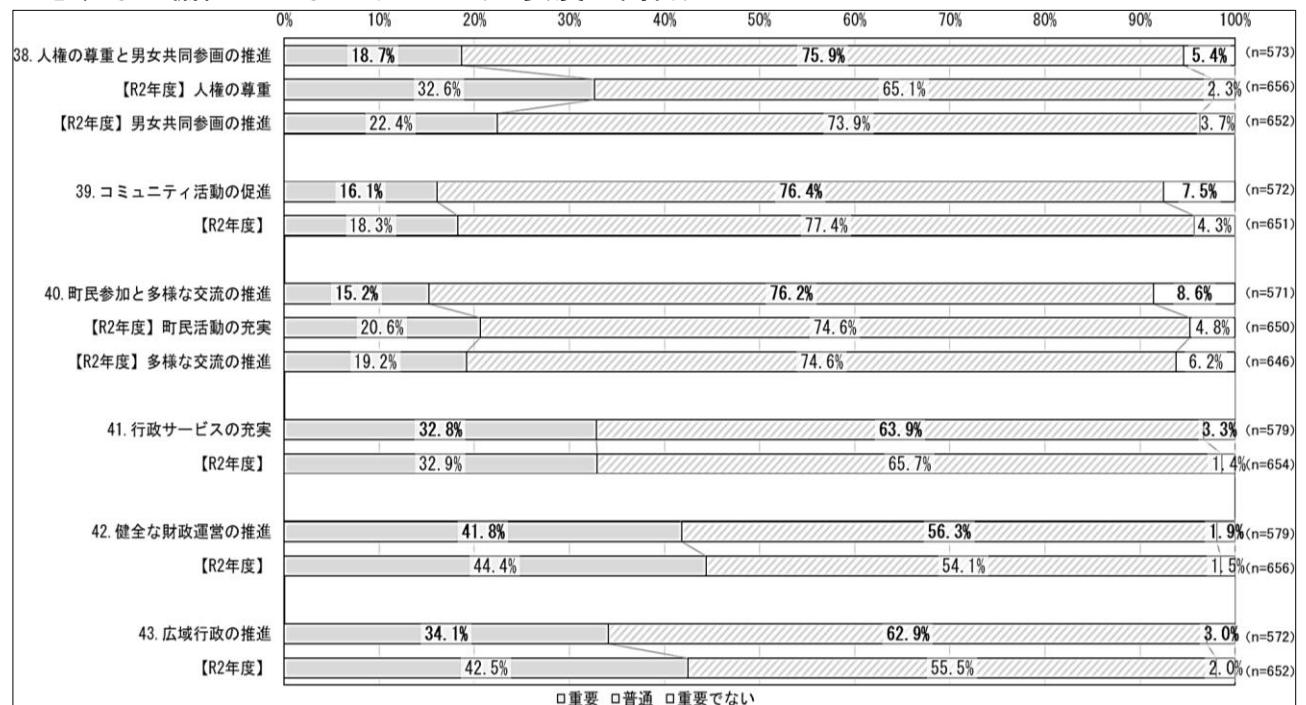


・重要度^{※2}の変化 (R7 調査-R2 調査)

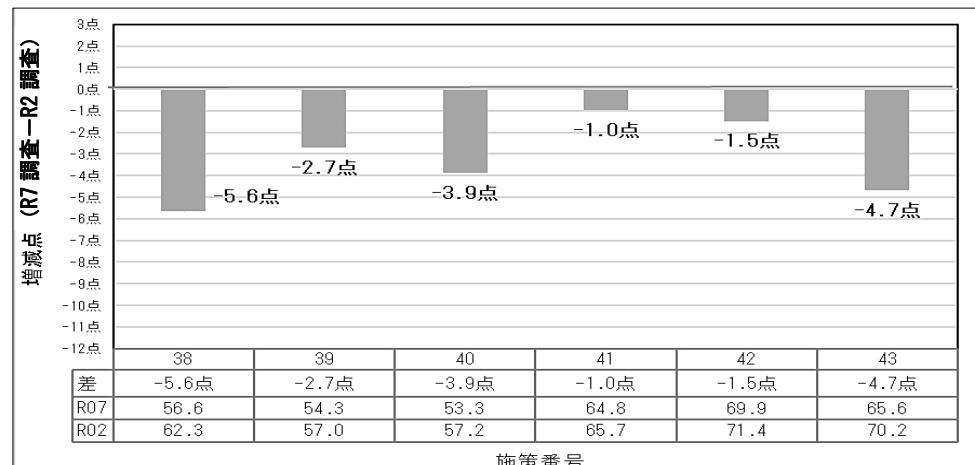


※2【重要度の数値化】「重要」：100点、「普通」：50点、「重要でない」：0点で集計し、その値を回答者数で除した点数（平均点）

E. きずなと協働でつながるまち（重要度の割合）



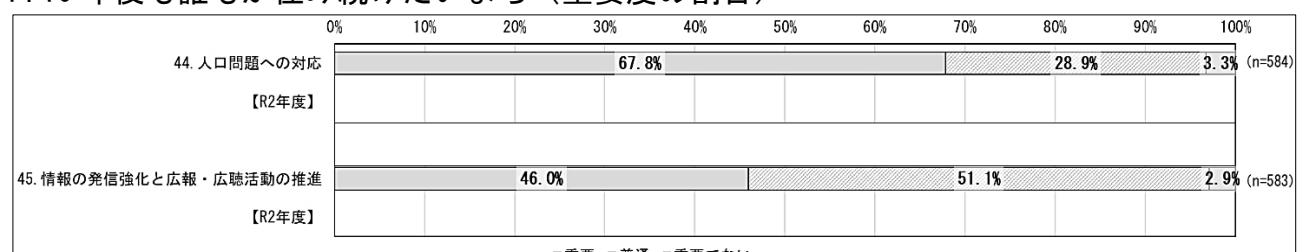
・重要度^{※2}の変化 (R7 調査-R2 調査)



- 38. 人権の尊重と男女共同参画の推進
- 39. コミュニティ活動の促進
- 40. 町民参加と多様な交流の推進
- 41. 行政サービスの充実
- 42. 健全な財政運営の推進
- 43. 広域行政の推進

※2【重要度の数値化】「重要」:100点、
「普通」:50点、「重要でない」:0
点で集計し、その値を回答者数で
除した点数（平均点）

F. 10年後も誰もが住み続けたいまち（重要度の割合）



・重要度^{※2}の変化 (R7 調査-R2 調査)



- 44. 人口問題への対応
- 45. 情報の発信強化と広報・広聴活動の推進

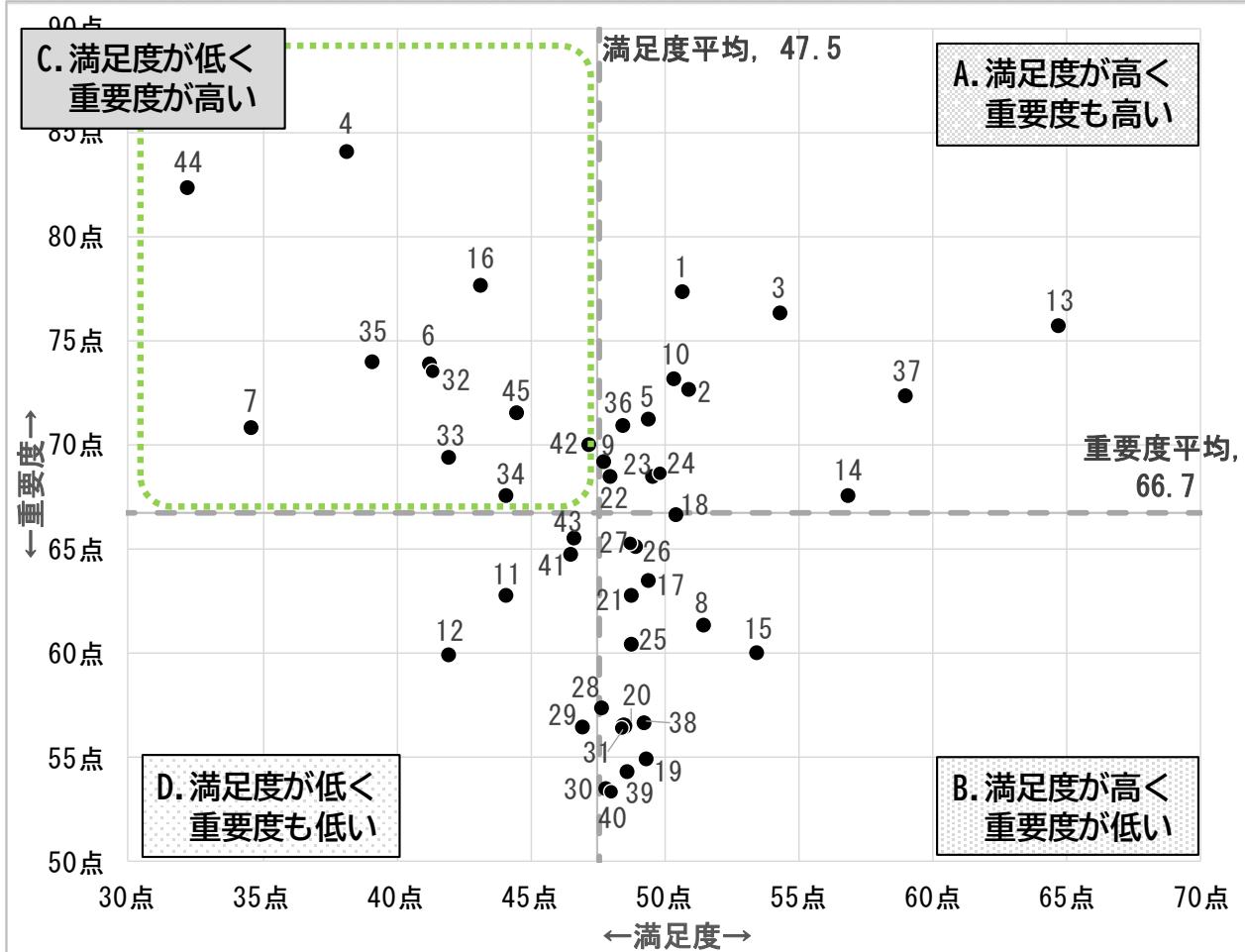
※2【重要度の数値化】「重要」:100点、
「普通」:50点、「重要でない」:0
点で集計し、その値を回答者数で
除した点数（平均点）

【満足度と重要度のクロス集計による施策評価】

○満足度と重要度のクロス評価による4類型区分のうち、「満足度が低く重要度が高い」(C類型)と分類される分野は、住民の視点から今後重点的に改善すべき分野であると考えられます。

(C類型参考：満足度が47.5点以下で重要度が66.7点以上の基本施策：11施策)

- 4. 雪対策の強化 ●6. 道路の整備 ●7. 公共交通の充実 ●16. 地域医療の充実
- 32. 農林業の振興 ●33. 商業・サービス業の育成 ●34. 工業の育成
- 35. 雇用労働対策の強化 ●42. 健全な財政運営の推進
- 44. 人口問題への対応 ●45. 情報の発信強化と広報・広聴活動の推進



【特徴と課題の類型】

- A : 満足度が高く重要度も高い → 安定的に維持すべき分野
- B : 満足度が高く重要度が低い → (重要度の動向をみて)選択的に維持すべき分野
- C : 満足度が低く重要度が高い → 重点的に改善すべき分野
- D : 満足度が低く重要度も低い → (重要度の動向をみて)選択的に改善すべき分野

1. 防災対策の充実 2. 河川の整備 3. 消防・救急体制の充実 4. 雪対策の強化 5. 交通安全・防犯対策の強化
6. 道路の整備 7. 公共交通の充実 8. 自然環境の保全と景観形成 9. 排水処理の充実 10. ごみの減量化・リサイクルの推進
11. 総合土地利用での住環境の整備推進 12. 公園・緑地の整備 13. 水道の安定供給 14. 保健事業の充実
15. 健康づくりの推進 16. 地域医療の充実 17. 長寿時代のまちづくり 18. 高齢者福祉の充実 19. 生きがい対策の充実
20. 社会風土の醸成 21. 障がい者福祉の充実 22. 児童・母子（父子）福祉の充実 23. 社会保障の充実 24. 幼児教育の充実
25. 家庭・地域との連携 26. 田上の12か年教育の推進 27. 教育支援の充実 28. 生涯学習の推進 29. 生涯スポーツの推進
30. 芸術・文化の振興 31. 文化財と伝統芸能の継承 32. 農林業の振興 33. 商業・サービス業の育成 34. 工業の育成
35. 雇用労働対策の強化 36. 観光の振興 37. 地域資源を活用した活動の促進 38. 人権の尊重と男女共同参画の推進
39. コミュニティ活動の促進 40. 町民参加と多様な交流の推進 41. 行政サービスの充実 42. 健全な財政運営の推進
43. 広域行政の推進 44. 人口問題への対応 45. 情報の発信強化と広報・広聴活動の推進

【前回値との比較：満足度と重要度のクロス集計による施策評価】

○令和2年度調査時から今回（令和7年）の間の満足度と重要度の増減状況を散布図で表示しました。

○この間の評価でC類型（前回よりも満足度が低く、需要度が高い）の項目は、以下のとおりです。

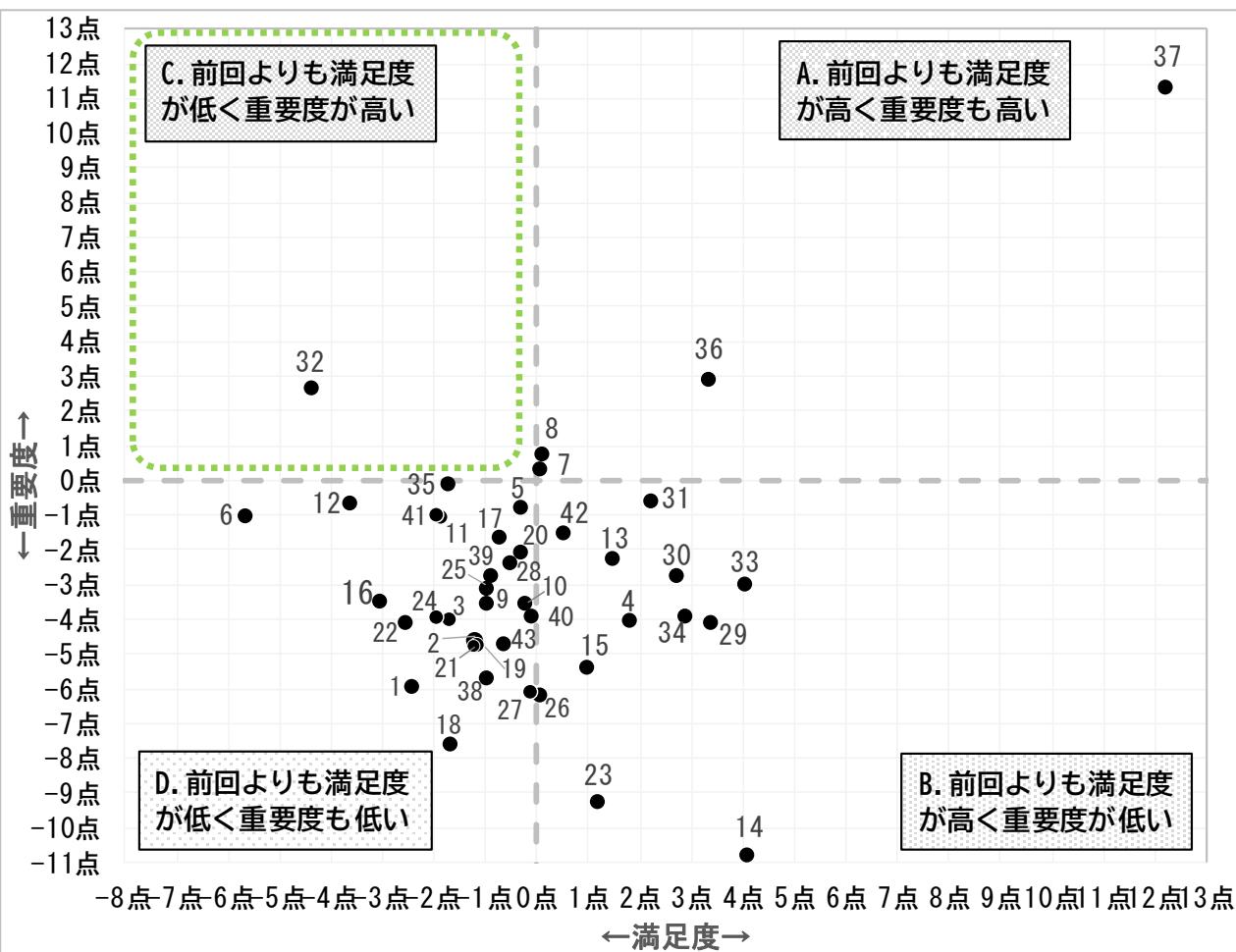
(C類型参考：前回よりも満足度が低く、需要度が高い基本施策：1施策)

- 32. 農林業の振興

○この間の評価でA類型（前回よりも満足度が高く、需要度も高い）の項目は、以下のとおりです。

(A類型参考：前回よりも満足度が高く、需要度も高い：4施策)

- 36. 観光の振興
- 37. 地域資源を活用した活動の促進
- 7. 公共交通の充実
- 8. 自然環境の保全と景観形成



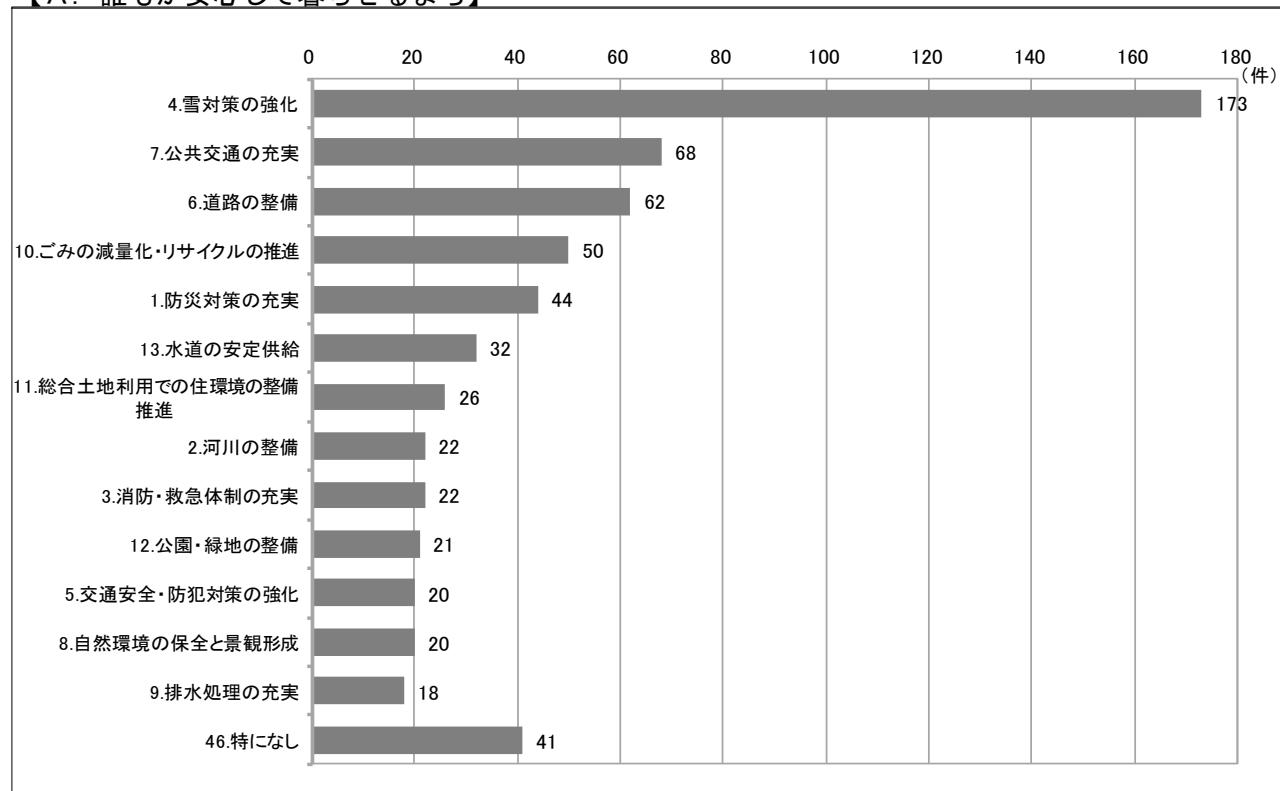
問9．問8の施策の中であなたが町に優先的に予算を振り分けてほしいと思う施策を分野A～Eごとにそれぞれ1つずつお聞かせください。

A 誰もが安心して暮らせるまち

- 「4. 雪対策の強化」が最も多く、「7. 公共交通の充実」、「6. 道路の整備」が続きます。特に「4. 雪対策の強化」は、他よりも突出して多く挙げられています。

【A. 誰もが安心して暮らせるまち】

回答者数=619[人]

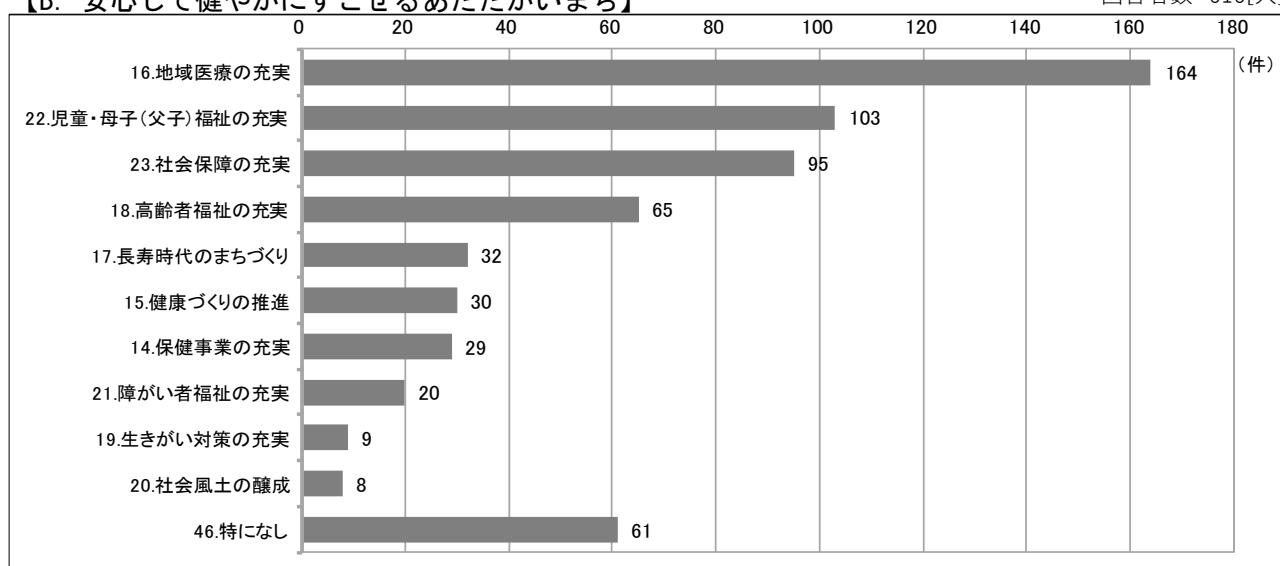


B 安心して健やかにすごせるあたたかいまち

- 「17. 地域医療の充実」が最も多く、「22. 児童・母子（父子）福祉の充実」、「23. 社会保障の充実」が続きます。

【B. 安心して健やかにすごせるあたたかいまち】

回答者数=616[人]

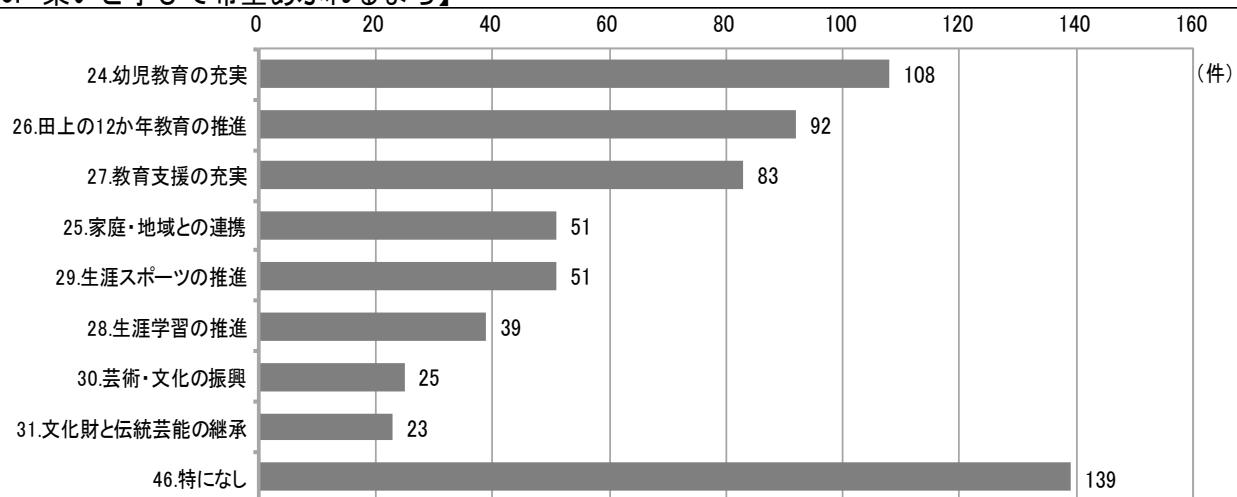


C 集いと学びで希望あふれるまち

- 「24. 幼児教育の充実」が最も多く、「26. 田上の12か月教育の推進」、「27. 教育支援の充実」が続きます。この分野では、「46. 特になし」が他よりも突出して多く挙げられています。

【C. 集いと学びで希望あふれるまち】

回答者数=611 [人]

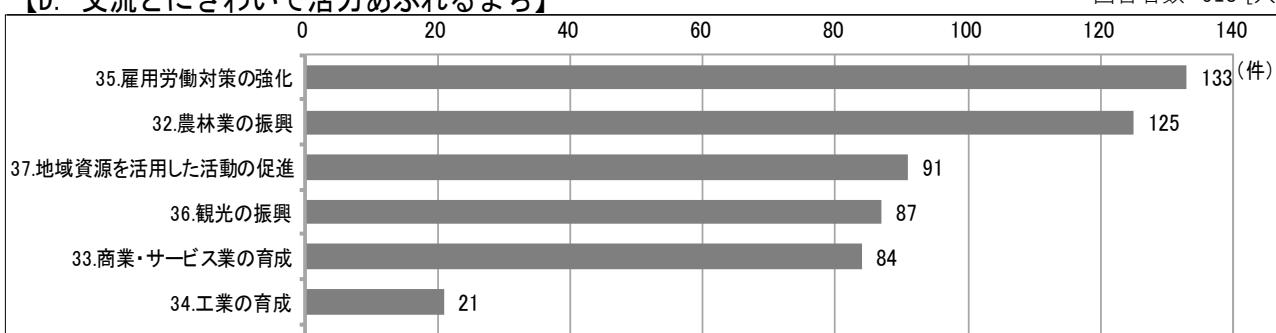


D 交流とにぎわいで活力あふれるまち

- 「35. 雇用労働対策の強化」が最も多く、「32. 農林業の振興」が続きます。

【D. 交流とにぎわいで活力あふれるまち】

回答者数=613 [人]

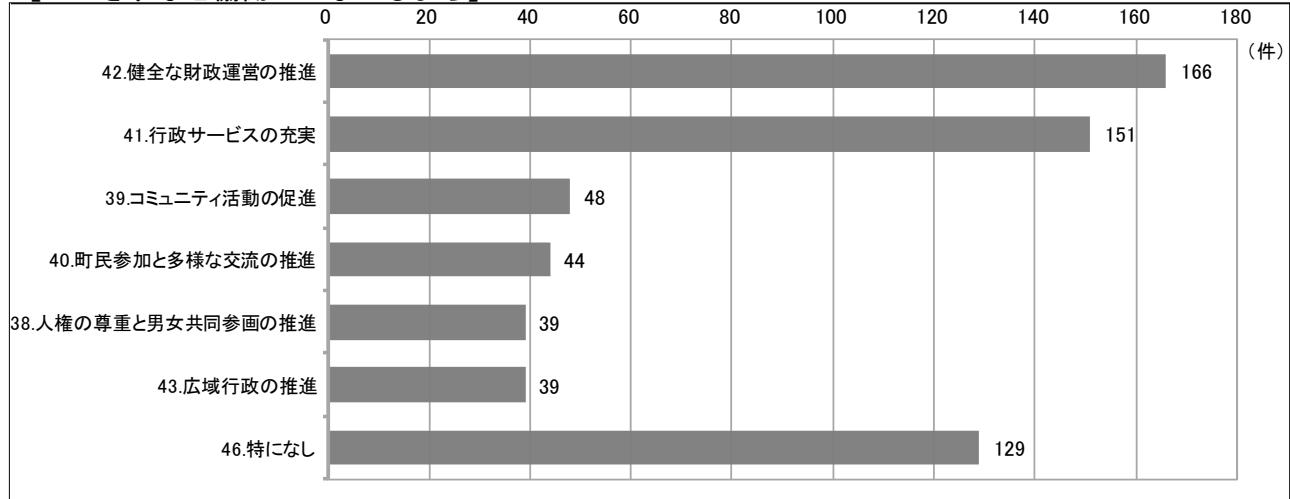


E きずなと協働でつながるまち

- 「42. 健全な財政運営の推進」が最も多く、「41. 行政サービスの充実」が続きます。この分野では、「46. 特になし」も多く挙げられています。

【E. きずなと協働でつながるまち】

回答者数=616 [人]

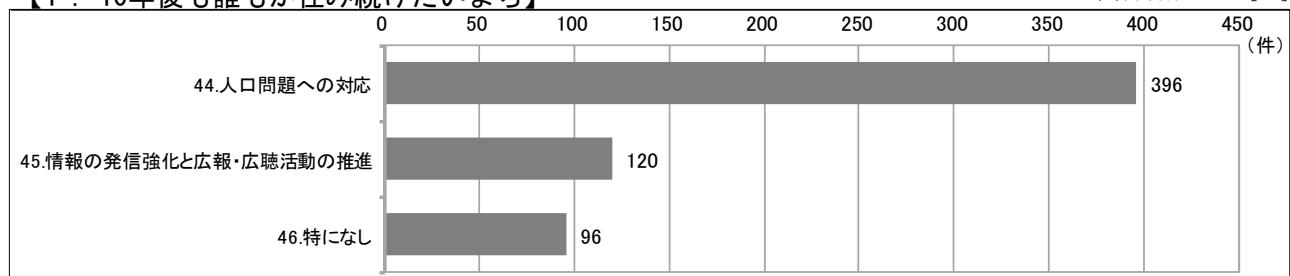


F. 10年後も誰もが住み続けたいまち

- 「42. 健全な財政運営の推進」が最も多く、「41. 行政サービスの充実」が続きます。この分野では、「46. 特になし」も多く挙げられています。

【F. 10年後も誰もが住み続けたいまち】

回答者数=612 [人]

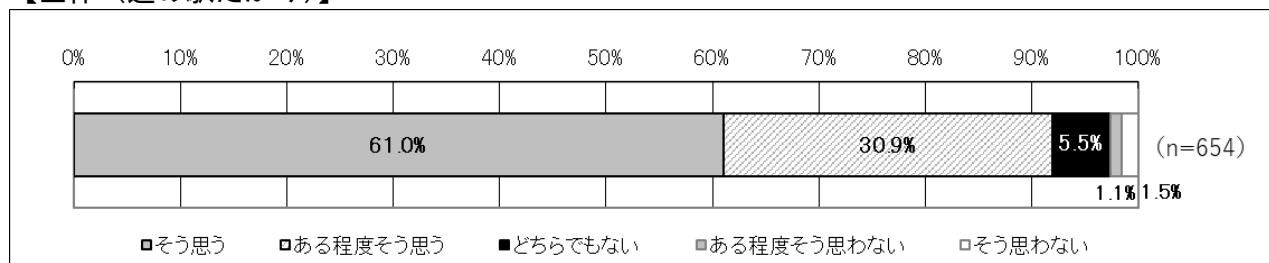


問10. 道の駅たがみ、田上町交流会館、田上町地域学習センターは、まちづくりの拠点として有効的に活用されていると思いますか？

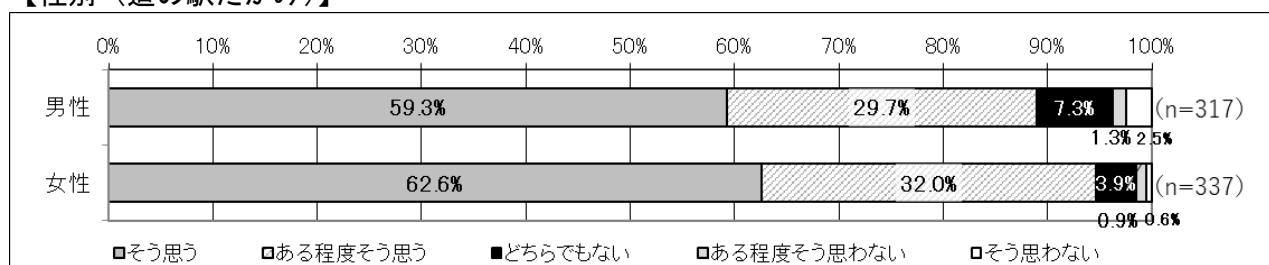
【道の駅たがみ】

- 全体では、90%以上がまちづくりの拠点として有効的に活用されていると回答しています。
- 性別では、男性よりも女性の有効的に活用されていると考える割合が高くなっています。
- 年代別では、20代で有効的に活用されていると考える割合が100%となっています。一方、30代では、有効的に活用されていないという割合が7.7%となっています。

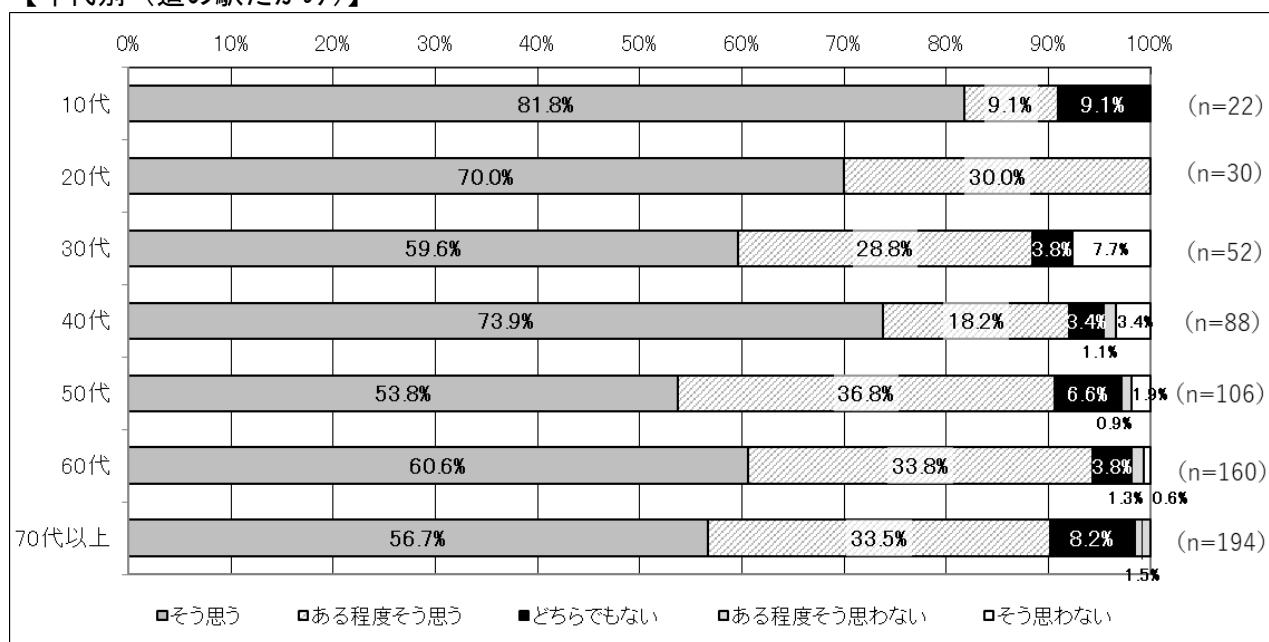
【全体（道の駅たがみ）】



【性別（道の駅たがみ）】



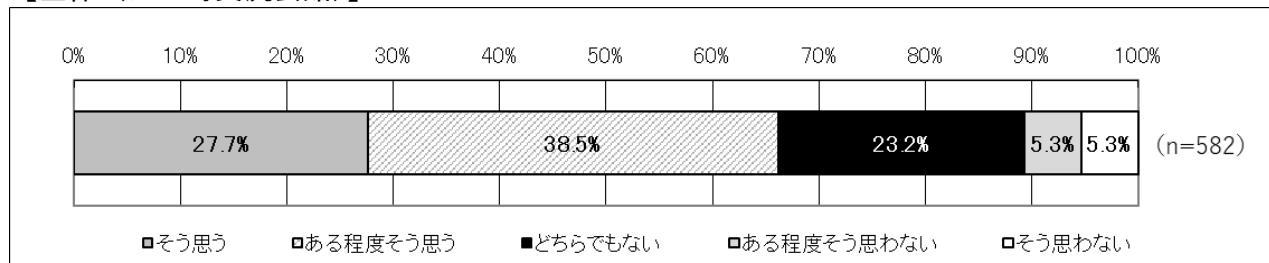
【年代別（道の駅たがみ）】



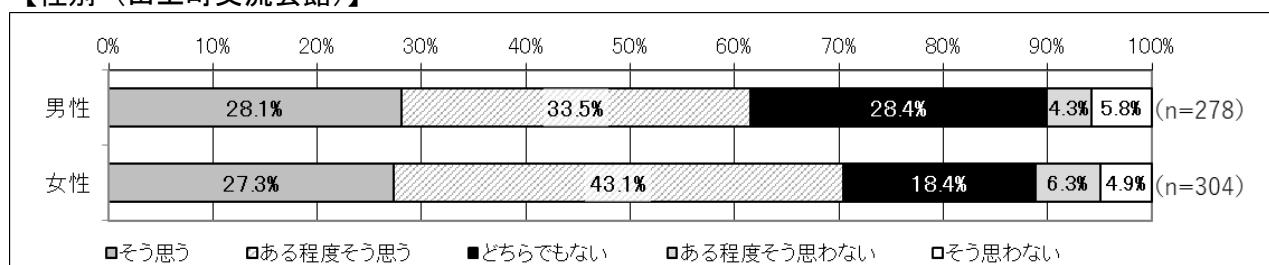
【田上町交流会館】

- 全体では、66.2%がまちづくりの拠点として有効的に活用されていると回答しています。
- 性別では、男性よりも女性の有効的に活用されていると考える割合が高くなっています。
- 年代別では、10代、70代以上で有効的に活用されていると考える割合が高くなっています。一方、20代、30代、50代では、有効的に活用されていると考える割合が低く、有効的に活用されていないという割合が20%前後となっています。

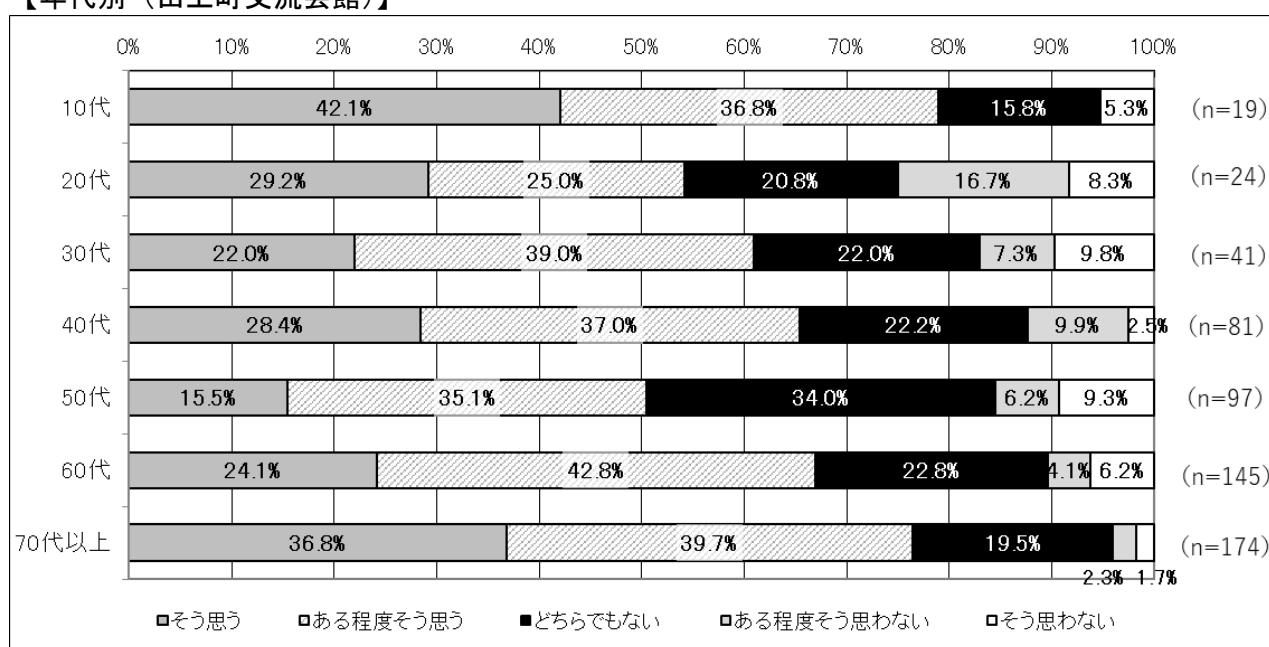
【全体（田上町交流会館）】



【性別（田上町交流会館）】



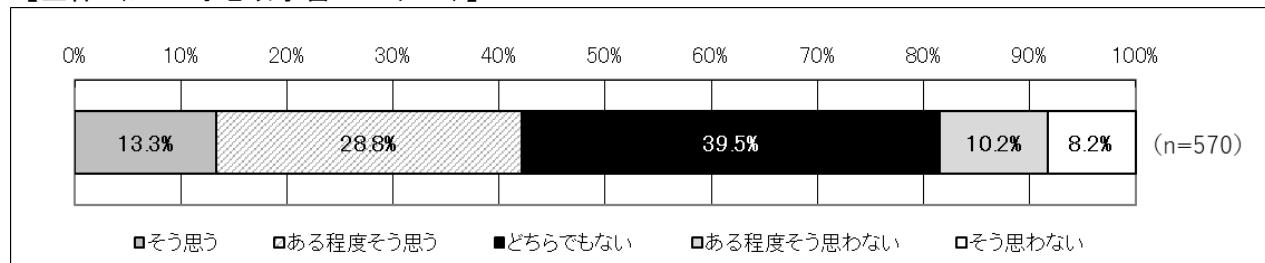
【年代別（田上町交流会館）】



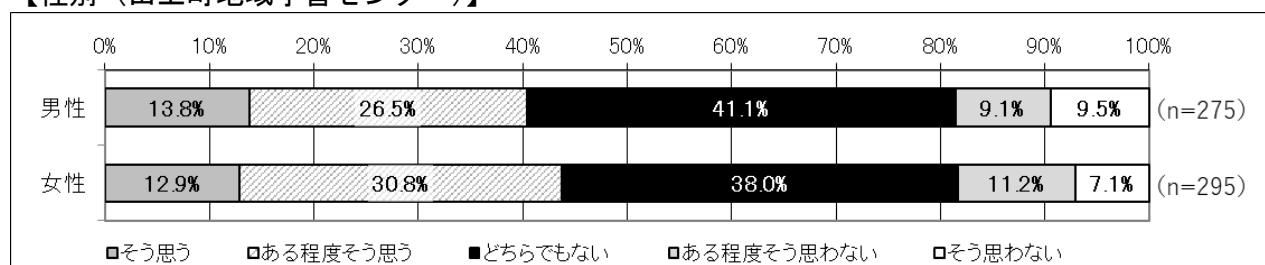
【田上町地域学習センター】

- 全体では、42.1%がまちづくりの拠点として有効的に活用されていると回答しています。
- 性別では、男性よりも女性の有効的に活用されていると考える割合が高くなっています。
- 年代別では、10代が有効的に活用されていると考える割合が73.7%と最も高くなっています。一方、20代以降では、有効的に活用されていると考える割合が50%を下回りました。

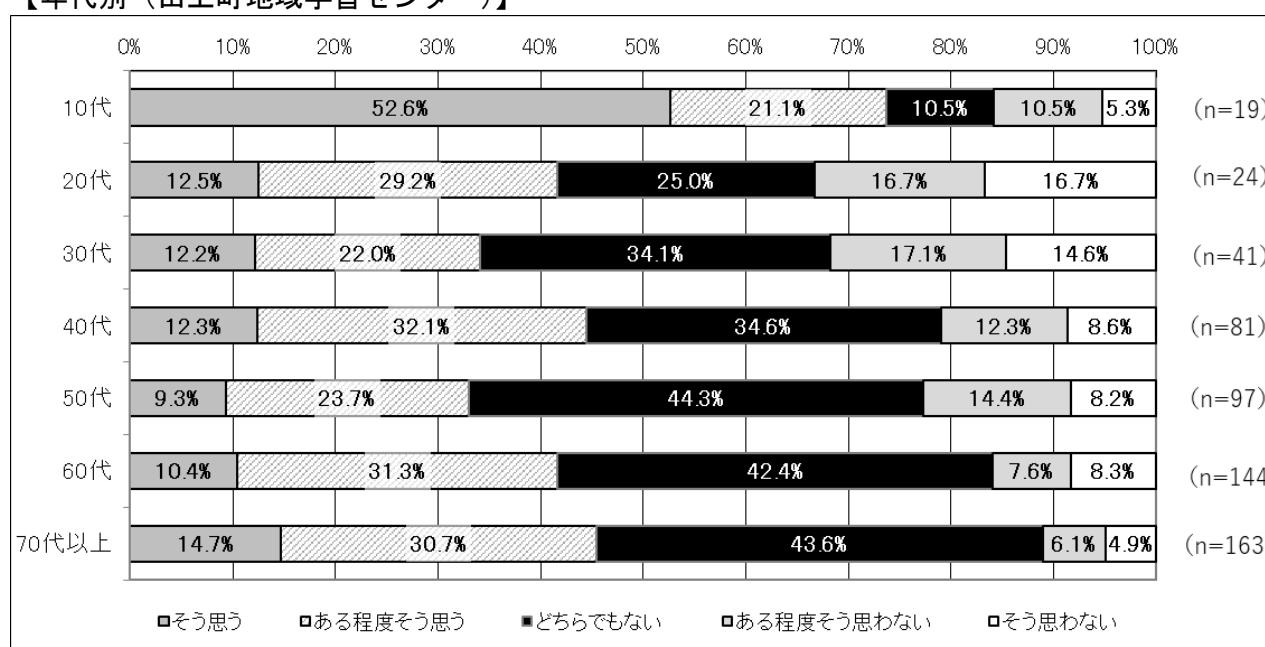
【全体（田上町地域学習センター）】



【性別（田上町地域学習センター）】



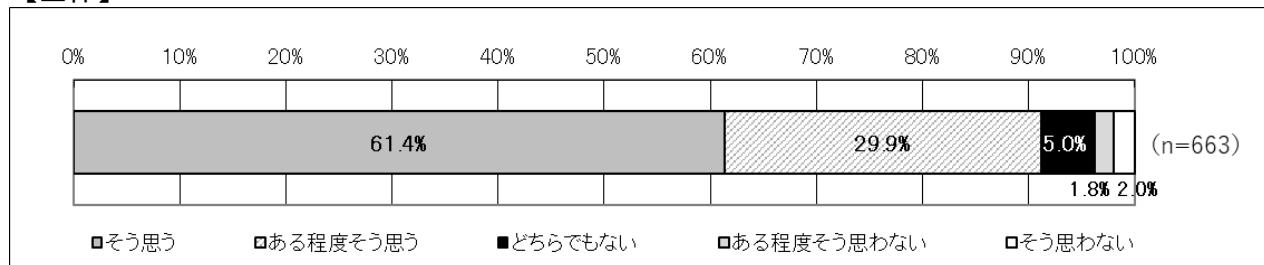
【年代別（田上町地域学習センター）】



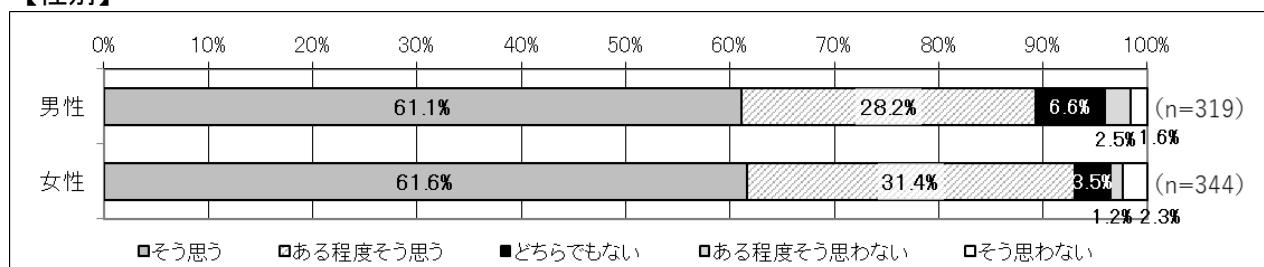
問11. 「道の駅たがみ」は、町の賑わいを創出していると思いますか。

- 全体では、90%以上が町の賑わいを創出していると回答しています。
 ○性別では、男性よりも女性の方が賑わいを創出していると考える割合が高くなっています。
 ○年代別では、10代、20代で町の賑わいを創出していると考える割合が100%となっていま
 す。一方、30代以降では、分からぬ、町の賑わいを創出していないと考える割合が、20%
 程度となっています。

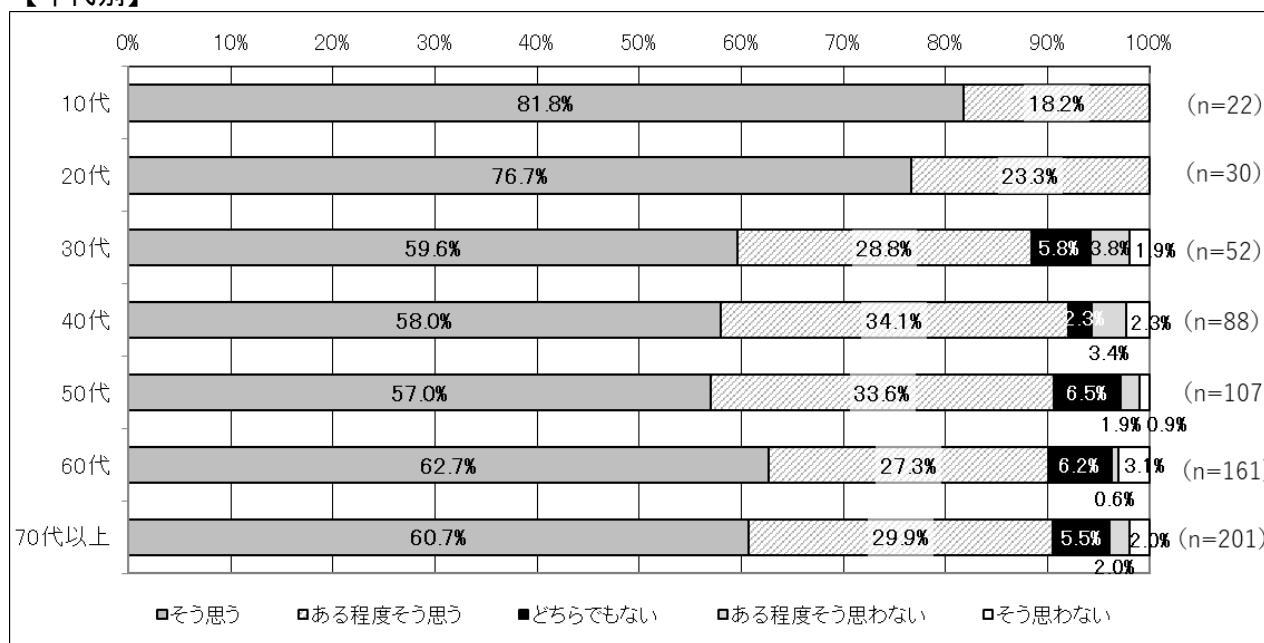
【全体】



【性別】



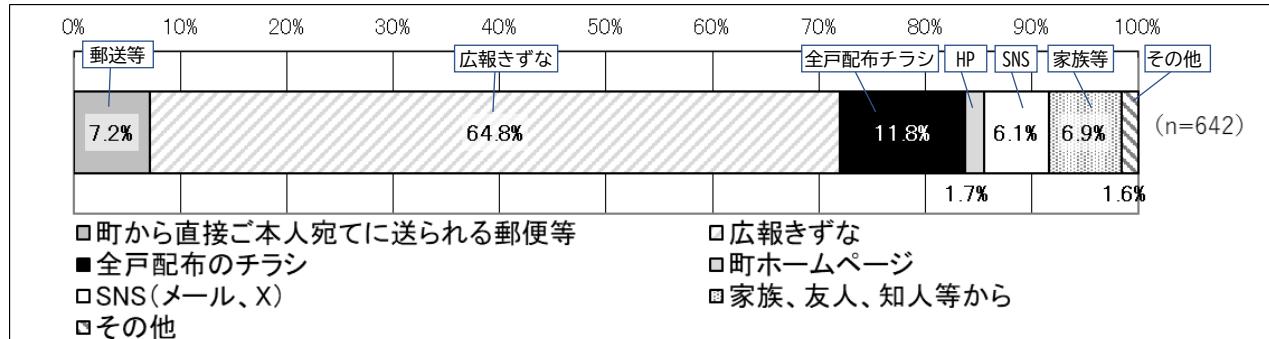
【年代別】



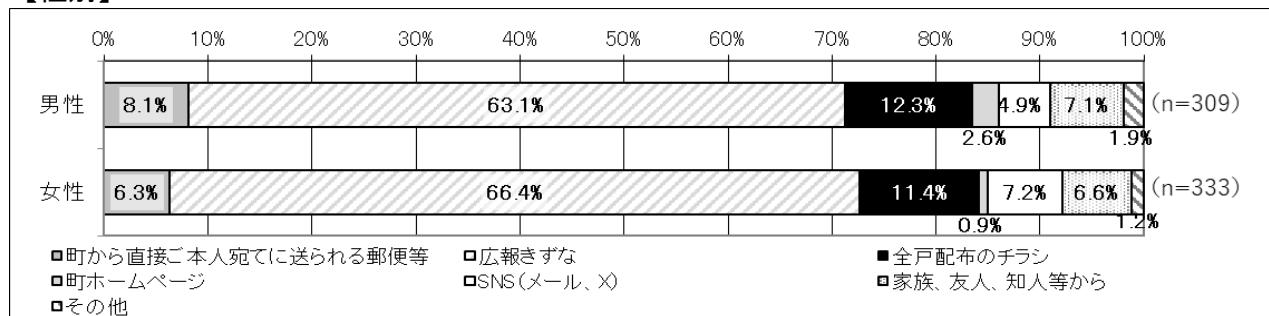
問12. 町からのお知らせや、町で実施している様々な事業内容等はどこで最初に情報を得る事が多いですか？

- 全体では、「広報きずな」で情報を得る事が多く、次いで「全戸配布のチラシ」、「本人宛ての郵便等」になりました。全戸に配布されている紙媒体で情報取得されています。
- 男性では女性よりも「町ホームページ」で情報取得する割合が高く、女性では男性よりも「SNS等から」の割合が高くなりました。
- 年代別では、10代、20代、50代が家族や友人、知人等の人づてに情報を得る割合が高くなっています。

【全体】



【性別】



【年代別】

